

は当社と關係を絶たるゝに至つたことは遺憾の大第であつた。

七、現在並びに將來

供給區域劣り、經營規模小にして尙大事業會社たる伊豫鐵電と同料金、又公企業にして免稅且需用稠密其他各種の利便ある久方町營とも同料金を以て當社の經營を行はんとする以上は異常の決斷を以て内部刷新を加へねばならぬ。茲に於て昭和六年四月以後散宿所的事務を除く一切の事務は之を伊豫鐵電會社に委託することとし、以て事務員、小使、給仕等を廢した。之は當社經營の上に一時期を劃したもので爾來業務は經驗ある同社各機關に取扱はれ合理的に且、經濟的に運營することが出来ることになつた。

一方伊豫鐵電より購入の電力料を幾分低減を乞ひ、又積極的に電燈の勧誘を行ふ等あらゆる對策を傾けて新時運に順應せんことを期したので幸に以前よりも一層健全な經營を續けることが出来た。

開業以來三年間は修繕費らしき修繕費を要せず、經營極めて榮であつたから開業一年にして一株につき半期五十錢の配當を行ひ爾後異増、時には一圓三十錢(四十七圓五十錢拂込)迄配當したこともあるが、昭和三年下期頃より修繕費漸増のため到底高配當を容さず電燈料の低減など相俟つて昭和五年上期以來は半期一株につき五十錢の配當を繼續してゐる。配當を低位に保つ一方修繕改良を促進し又一面固定資産の銷却を行うて利益の社内保留に意圖し借金は皆無、手許資金は累加して經營は漸時順潮となつてゐる。

當社は從來比較的内容の整備に力を用ひて來たのであつたが近來時勢の進運に伴ひ、待望久しい父二峰村殘部、仕七川村、面河村への配電線路延長が目下眼前に横つてゐる。これら地域需用家の希望も相當熟して來てゐるからやがて近々實現するであらう。さすれば千燈以上を加ふる譯で社業は大凡二倍に膨脹し、山間の微社漸く耳目に觸るゝに至るであらう。かくて生みの惱みを持つた當社も順次適當なる經營者を惠まれ理解ある需用大衆の翼賛扶護のもとによゝ時を得て發展せんとしつゝある。現在の諸内容は次の通りである。

(昭和十一年五月三十一日現在)

架空配電線路

直長 五一・六軒、回線延長 一一・二軒、支持物數九二〇本

電燈取附數 需用家數 八六四戶、定額 一、四三四燈、從量 一〇八燈  
役員 取締役社長 武智勝  
取締役 西岡松太郎、渡部保次郎、安宅藤太郎、田邊榮吉 監査役 天野龜松、藤崎佐吉

第二十三期末 貸借對照表

昭和十一年五月三十一日現在

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
株主勘定	三、二五〇、〇〇〇	株主勘定	六八、一五〇、〇〇〇
未拂込資本金	三、二五〇、〇〇〇	資本金	六五、〇〇〇、〇〇〇
固定資産	六三、八六九、三〇四	法定準備金	三、一五〇、〇〇〇
營業設備	九二六、一三〇	引當勘定	三、三〇〇、〇〇〇
配電設備	五六、二六三、七二一	減價銷却引當金	三、三〇〇、〇〇〇
需用者屋内設備	六、六七九、四五三	短期負債	一、二四四、二八〇
流動資産	一〇、一七一、一七〇	未拂配當金	五七、〇〇〇
貯蔵品	一、〇四六、九七〇	諸未拂金	八四七、二〇〇
事業未收入金	九三、八三〇	従業員預り金	三四〇、〇八〇
預金	八、一三四、一〇〇	從業員預り金	一、四一〇、四四八
現金	七九六、二七〇	假受金	一、三五一、一一八
現勘定	九五、九五〇	前受金	五九、三三〇
假拂金	九五、九五〇	前期繰越利益	三、二八一、六九六
		当期純利益	一、一〇九、四五四
合計	七、七三六、四二四	合計	七、七三六、四二四

第二章 弘形電氣株式會社  
第二十三期末 損益計算書

自昭和十年十二月三十一日  
至昭和十一年五月三十一日

七六六

科目	利益		損失	
	金額	金額	金額	金額
電燈料	五、二五九、〇四〇	八七九、六五〇		
電熱其他供給料金	三四、九一〇	一、三〇二、五二〇		
供給雑益	一七〇、九五〇	四〇八、四三二		
供給事業利益	五、四六四、九〇〇	四、一五五、九九七		
受人利息	一、三〇八、九〇三	一、三〇八、九〇三		
雑收益	一、二二、二八〇	三四八、五三〇		
營業利益	一、五八三、五四三	四八五、〇二九		
銷却債權取立益	一、〇九八、五一四	一、〇九八、五一四		
	一〇、九四〇			
	一、一〇九、四五四			
当期純利益				一、一〇九、四五四
				一、一〇九、四五四

第二十三期 利益金處分書

自昭和十年十二月三十一日  
至昭和十一年五月三十一日

科目	金額
当期純利益	一、一〇九、四五四
前期繰越利益	二、一七二、二四二
合計	三、二八一、六九六
之ヲ處分スルコト次ノ如シ	
法定準備金	一五〇、〇〇〇
役員賞與金	六〇、〇〇〇
配當金	六五〇、〇〇〇
年二米一厘強 一株ニ付五〇錢	
後期繰越利益	二、四二一、六九六

### 第三章 松山自動車株式会社

#### 一、設立

道後高濱間、道後河中間の定期乗合と、旅客貸切の自動車営業をしてゐた松山タクシー自動車株式会社と、大野助直氏経営に係る三津濱道後間の定期乗合自動車との営業を譲受け新設されたのが此の松山自動車株式会社であつて、昭和六年十一月二十九日を以て設立し、十二月一日から営業を開始したものである。

#### 二、伊豫鐵道電氣株式会社への肩代り事情

二萬九千餘圓の收入に對し二萬八千餘圓の支出を目論見、差引一年間の純利益一千五百二十七圓五十錢を得て年七厘の配當を豫定してゐたものがなかくに豫定通りの成績を見ず、勿論相當の減價銷却は續けたけれども利益配當の餘裕は無かつた。主たる禍根は伊豫鐵道電氣株式会社の鐵道軌道に並行せるに在りとするの外無く、若し飽く迄競争をするとしても結局勞して益なきは隙であるのみならず、地方交通機關の圓滑な發達を阻害することになるから、伊豫鐵道電氣株式会社に合併されるか或は所謂關係会社として同社の經營に移すことが妥當であり、斯界の爲め地方の爲めにもより以上貢獻する所以であらねばならなかつた。此の合併又は買收問題が起つて兩社重役間の議に上つたのは昭和九年三月上旬であつて、種々協議の結果同年六月九日當社の株式を伊豫鐵道電氣株式会社に肩代りの締約成り、同時に當社役員全部の改選となつたのである。

譲渡前の當社役員は左の通りであつた。

取締役 相田梅太良 菊山計次郎 石村頼爾  
監査役 菊山新太郎 小倉龜吉

#### 三、現状並びに將來

相原和一郎、河野喜一郎、大野林次郎の三氏取締役、武智鼎、近藤竹次郎の兩氏監査役に就任、爾來伊豫鐵道電氣株式会社に準ずる堅實な經營方針が確立し、定期乗合と旅客貸切の自動車營業が左の路線を走つて順調に繼續されてゐる。營業種別、車輛數、營業所等は次の通りである。

#### 定期乗合

イ、高濱線 (道後湯ノ町を起點とし松山市を経て高濱に至る) 十三軒二分  
ロ、三津線 (三津濱町御幸町を起點とし松山市を経て道後湯ノ町温泉前に至る) 十一軒七分  
ハ、湯山線 (道後湯ノ町を起點とし松山市東部を経て湯山村河中に至る) 十四軒

#### 旅客貸切

イ、松山市及道後湯ノ町を一區域とする均一運賃の旅客貸切  
ロ、愛媛縣一圓の旅客貸切

#### 車輛數

イ、乗合車	八輛
ロ、貸切車	七輛
合計	十五輛

#### 本店及營業所

イ、本店 (松山市湊町五丁目拾參番地)  
ロ、一番町營業所 (松山市船屋町十六番地ノ一、二)

- ハ、道後營業所 (道後湯ノ町一、六〇七番地)
- ニ、三津營業所 (三津酒町御幸町一番地ノ一)

資本金は創立以來二萬圓の全額拂込であつて最近は一萬六千圓の借入金を併せて運営されてゐるが、曩にも述べた様に遺憾乍ら當初以來未だ利益配當に迄至つてゐない。

昭和九年六月繰越損を持つ當社は伊豫鐵電の關係會社となつてから特に内容充實に力を致し、社内整備と經費の節減と相俟つて營業更新、旅客サービス改善等一路名實兼備の業績向上を期して來た。

又舊一番町營業所及車庫は狹隘で改築の必要に迫られ近接の地を相し、昭和十年十一月起工、翌年二月十七日竣工、四月二十六日移轉したのが現一番町營業所であり、事業の擴張、資本増加も計畫中である。

尙最近の營業期の決算を次に掲げる。

第十九期末 貸借對照表

昭和十一年三月三十一日

借方	貸方		
	科目	金額	
興業費	三三、九八四・五七〇	資本金	一〇、〇〇〇・〇〇〇
貯蔵物品	六九、〇〇九	借入金	一六、〇〇〇・〇〇〇
假出入	二四五・〇〇〇	未拂積立金	三六五・五〇〇
未收入	一、二七八・〇〇〇	職員積立金	八四五・四五〇
預入金	七二八・六二〇	当期純益金	六・一三〇
現金	五五三・八三〇		
前期繰越損金	一、三五七・九七〇		
合計	三三七、二七〇・八〇	合計	三三七、二七〇・八〇

第十九期末 損益計算書

自昭和十年十月一日  
至昭和十一年三月卅一日

支出之部		收入之部	
科目	金額	科目	金額
保存費	三、〇四六・九八〇	運輸收入	二四、三一六・四二〇
運賃費	一四、九四五・二六〇	雑收入	九九八・六八〇
總務費	一、二九三・一八〇		
諸税	八八一・〇一〇		
道路損傷負擔金	一四六・四〇〇		
支拂利子	三九七・三二〇		
財産價格消却金	三、五〇〇・〇〇〇		
雜損	一、〇九八・八二〇		
計	二五、三〇八・九七〇		
当期純益金	六・一三〇		
合計	二五、三一五・一〇〇		

第十九期末 純益金處分書

自昭和十年十月一日  
至昭和十一年三月卅一日

- 当期純益金 六・一三〇
- 当期純益金ハ前期繰越損金ニ補填ス
- 前期繰越損金 一、三五七・九七〇
- 差引 損金 一、三五一・八四〇
- 右 損金ハ後期ニ繰越ス

### 第四章 松山合同運送株式会社

#### 一、成立並びに伊豫鐵道電氣株式會社との關係

當社は國鐵豫備線松山驛開通に伴ひ鐵道便路による一般貨物の運送取扱業を主たる目的として生れたものであつて、當時鐵道省は一驛一店主義を採つて居り、松山驛に於ける指定運送店として競願の各運送店共同出資の上成つたものである。

國有鐵道の松山開通前迄は松山市附近の需給物資は主として阪神、關門方面と取引され阪神以遠との取引貨物も一應阪神商人により中繼されてゐたから、伊豫鐵道電氣株式會社も高濱又は三津を基點として海上船舶との提携には不斷の注意を拂つたが、省、社線貨物の運送運輸は遂に實現を見ずして経過して来た。これがため、他の地方鐵道が省社運送運輸の關係上、鐵道省に準じた貨物運送規則を制定して居るに反し、我々はたゞ沿線相互の輸送に便なる様、全く獨特の規則を制定してゐたのである。

然るに省線の松山開通によつて貨物運送経路は相當の變化を來すことを豫想されたから、茲に愈々省社貨物の運送運輸を計畫し、施設として連絡線の松山驛乗入れを計り、先づ旅客手小荷物の運送運輸を開始することとした。而して貨物運送には社線規則を省規則に準じて改正することが認可の前提條件であつたので、從來無等級の社線規則を等級制に改めることとし、其の調査を進めたのであつたが、此の短距離鐵道に國有鐵道の規則を採用することは、一部運送貨物のために大部分を占める沿線相互の貨物を犠牲に供する事となるから、改正を躊躇される一方、省社線路の不統一並びに連絡線の松山驛構内に於ける設備の容易ならぬものがあつたので、遂に貨物運送運輸を棄て、之に代るに松山驛指定運送店を介して省社の連絡を計る方法を以てした。之が伊豫鐵電、當社と關與するに至つた動機である。

即ち伊豫鐵道電氣社と省線との貨物連絡運輸は、當時成立の當社を介することとなり、伊豫鐵道電氣株式會社も約四分の一の株式を持つて關與するに至つたのである。

其の後同社は持株を漸次増加して現在では三、二〇〇株中一、七六〇株を取得し、其の實權を握り省社線貨物の連絡に努めてゐる。

#### 二、業績

昭和二年資本金二十萬圓、十萬圓拂込を以て開業した當社は毎半期約六千噸の貨物と二萬五千圓乃至四萬個前後の小荷物とを取扱つてきたが業務の實情より昭和七年株式八百株を買戻し、公稱十六萬圓、拂込八萬圓に減資して充實に力め、昭和十年指定運送取扱人制度の改正に由り省社事業代行機關として愈々確立願望な歩みを續けてゐる。

昭和十一年上半期の取扱數量は發送貨物三千三百四十一噸、到着貨物四千七百七十九噸計七千五百二十噸、小荷物四萬九千十五個を算した。總収入は一萬三千六百十六圓餘總支出は一萬一千五百四十四圓餘であつて二萬三千餘圓の建物や自動車に對し千六百五十一圓の減價銷却を行ひ二千四百六十二圓餘の純利益を得た。二十五圓拂込の株式配當は年二米八厘とした。

現在の役員及び當期決算諸表は左の通りである。

專務取締役 藤澤岩松

取締役 武智勝 辻田勘一郎 養彦太郎 橋本武夫

監査役 上野藤次郎

#### 第十九期末 貸借對照表

昭和拾壹年五月三十一日現在

科 目	借 方		貸 方	
	金	額	金	額
未拂込株金	八〇,〇〇〇.〇〇			一六〇,〇〇〇.〇〇
營 業 債	五二,〇〇〇.〇〇			一,七五〇.〇〇
不 動 産	九,六一四.二〇			二,九〇〇.〇〇
什 器	七〇六.五〇			二,一七五.〇〇
資 本 金			一六〇,〇〇〇.〇〇	
法 定 積 立 金			一,七五〇.〇〇	
別 途 積 立 金			二,九〇〇.〇〇	
他 店 借 債			二,一七五.〇〇	

自動三輪車		損益	
科目	金額	科目	金額
自動三輪車	二、四九一・〇〇	營業費	七、八七三・六九
有價證券	九三三・〇〇	自動三輪車支出	一、四一九・〇七
保證金	一、五〇〇・〇〇	自動三輪車減價銷却費	二、二〇九・九四
銀行預金	四二〇・〇〇	建物減價銷却費	一、〇〇〇・〇〇
郵便振替貯金	七七〇・八九		
現金	三七九・七八		
現店貨	九二・一九		
他店貨	二、〇三六・八二		
發送荷主懸	二、五八五・八三		
鐵道省	二四七・六四		
國際運送株式會社	一、八七九・七二		
到着運貨	四、五九三・二〇		
假拂	六・六四		
荷造材	一四・二八		
合計	一七〇、二七一・六九	合計	一七〇、二七一・六九

第十九期末 損益計算表

自昭和拾年拾貳月壹日  
至同拾壹年五月參拾壹日

利益		損失	
科目	金額	科目	金額
到着貨物取扱收入	五、二七四・三〇	營業費	七、八七三・六九
發送貨物取扱收入	五、七二九・五六	自動三輪車支出	一、四一九・〇七
雜收入	一八四・二〇	自動三輪車減價銷却費	二、二〇九・九四
自動三輪車收入	二、一〇三・三七	建物減價銷却費	一、〇〇〇・〇〇
合計	一三、六一六・八七	合計	一三、六一六・八七

第十九期 利益金處分書	
金額	摘要
三二八・四四	自動三輪車減價銷却費
一〇二・〇〇	自動三輪車減價銷却費
二、四六二・一七	當期純益金
一三、六一六・八七	合計

第十九期 利益金處分書

一金貳千四百六拾貳圓拾七錢也  
 一金四百拾壹圓六拾九錢也  
 合計 金貳千八百七拾參圓八拾六錢也

處分內譯

金額	摘要
一、二二〇・〇〇	配當金 (壹株ニ付金參拾五錢)
一五〇・〇〇	法定積立金
三〇〇・〇〇	別途積立金
三〇〇・〇〇	職員退職手當基金
五〇・〇〇	役員賞與金
二、二二〇・〇〇	計
六五三・八六	右差引
	後期繰越金

### 第五章 四國水電株式會社

#### 一、伊豫鐵道電氣株式會社との關係

大正十二年創立の後を承けて翌年株式を取得し過半を制して不離の關係を結んでから苦しい四國水電の經營を扶けた伊豫鐵道の協調と負擔は並々ならぬものであつたが、縣下電氣事業の統一、合理化の實現を計る高知縣に事業並びに財産の讓渡が昭和十一年七月實施せられるや從來のやうな兩社不離の關係は終焉を告げることになり、僅かに電力需給當事者としての關係が繼續されるに過ぎない程度になつた。從て關係會社としての當社の記録は簡單なものに止めておく。

#### 二、創業時代

豫て出願中の發電用水利用が大正十二年十二月二十八日高知縣知事から許可せられ、電氣事業經營は大正十一年四月十四日逓信大臣から許可を得た各發起人は直ちに會社創立に着手し、所期の如く會社の創立を見て大正十二年二月十日東京市有樂町の帝國鐵道協會に於て創立總會を開催した。

爾來銳意創業に努めたけれども、會々未曾有の關東大震災が起り、建設材料は勿論資金の調達に尠なからぬ頓坐を來し、事業開始期の伸長を出願すること再三であつた。發電所水路工事の如きは遂に竣功期延長願が不許可となり大正十四年七月十五日には更めて水利權出願、工事施行認可を得た有様である。

此の頃既に伊豫鐵道電氣株式會社の援助を得て創業の難と闘つてゐたが、危機連續し事業の存廢の岐路に達したことも亦一再にとゞまらず、豫想以上の難工事であつた關係もあり、建設工事期間は實に三十三ヶ月の長きに亘つて關係者の不安極めて大なるものがあつた。

地方で株式拂込が圓滿に遂行出来ぬは勿論、金融を中央市場に仰ぐことも成就せず、工事の遅延請負人更改等相次ぐ不利の事情に對し特に釋明を重ね乍ら一部拂込の徴收を見た有様であつた。

併し幾多の難關に遭遇し乍ら大正十四年十月終に松葉川發電所、窪川變電所一先づ落成し十二月十二日を以て事業開始の運びに至つたのであつた。事業を計畫し幾度か繰り返された危急存亡の機を切り抜け辛ふじて營業開始の日に到つた喜びは思ふても尙餘りあるものがある。

創立當時の役員は開業當時左の通りの異動を見せてゐる。

創立當時	常務取締役	佐藤 秀松							
	取締役	雨宮信一郎	齋藤 澤吉	正岡 五榮	狩野次之助	弘田重光			
	監査役	雨宮豊次郎	谷脇龜太郎	嶋澤 備					
	相談役	國澤新兵衛	辻村 楠造	岡田 榮					
開業當時	取締役社長	下元鹿之助							
	常務取締役	岩原隆太郎							
	取締役	佐藤 秀松	齋藤 澤吉	正岡 五榮	狩野次之助	渡部保次郎	小倉龜太郎	上田 保	
	監査役	雨宮豊次郎	嶋澤 備	谷脇龜太郎	近藤竹次郎	西川 利七			

#### 三、業績

創業間もなく伊豫鐵道電氣株式會社が過半の株式を所有して絶大の庇護を與へてゐることは繰り返す言ふ迄も無いが、伊豫鐵道へ合併前の宇和水電株式會社と土佐電氣株式會社も陰に陽に援助を惜しまなかつた。

開業に至る迄の事業難局の實狀が一般に對し與へた不安は頗る大なるものがあつたため、需用の申込甚だ振はず、開業の際僅かに二千八百二十七燈を點したに過ぎず、動力の取付工事は皆無の状態であつたが工事完成の結果は豫想以上の好評を博して忽ち五千燈を超

える需用數を獲得した。不況の繼續は順調な營業を阻まれたこと勿論であつたが、幸に多大の努力により昭和三年上期からは四朱の配當を維持し得た。

資本金は創立以來六十五萬圓で現在全額拂込済、最近の（昭和十一年上期）の總收入六萬三千八百三十四圓餘、總損失四萬九千八百八十四圓餘、固定資産七十七萬一千十四圓餘であつて諸施設需用數其他を掲記すれば次の通りである。

- 電 燈 營業總費數 七、七二二燈（需用家數 三、七五三戸）
- 電 力 一〇四・五馬力（需用家數 五一戸） 外ニ特約電力 六七五キロ 不特定電力 二三馬力
- 家庭電氣 三九・五キロ（需用家數 八） エリミネーター六〇臺（需用家數 六〇戸）
- 送電線路互長 三三、〇〇〇ヴォルト 四八軒
- 配電線路互長 低壓 一九八軒
- 配電線路支持物數 三、四九八本
- 配電用變壓器 二一八個 五四〇キロヴォルトアンペア
- 發電所 松葉川水力發電所 常時出力 二八〇キロ 特殊出力 四〇キロ
- 受電所 伊豫鐵道電氣株式會社ヨリ常時 六五〇キロ 豫備 二五〇キロ
- 變電所 窪川變電所 出力 一、〇五〇キロ
- 本店所在地 高知縣高岡郡窪川町

第二十七期末 貸借對照表

昭和十一年四月三十日

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
固定資産	七七一、〇一四・九三〇	株主勘定	六六九、九〇〇・〇〇〇
營業設備	五〇八、三四五〇	資本勘定	六五〇、〇〇〇・〇〇〇

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
發電設備	四二六、〇九七・八四〇	法定準備金	一九、九〇〇・〇〇〇
送電設備	一〇六、四三七・九四〇	引當勘定	一、〇〇〇・〇〇〇
變電設備	一七、六七四・六六〇	退職給與引當金	一、〇〇〇・〇〇〇
配電設備	一六六、五一三・七六〇	長期負債	一一〇、〇〇〇・〇〇〇
需用者屋内設備	四七、八九〇・二三〇	長期借入金	一一〇、〇〇〇・〇〇〇
建設工事勘定	一、三一七・〇五〇	短期負債	二、七〇四・四六〇
投資	一六、〇六三・二〇〇	買掛金	七五・七〇〇
關係會社有價證券	一六、〇六三・二〇〇	未拂利息	六二九・七〇〇
流動資産	二〇、二一六・六二〇	未拂配當金	八四・四五〇
貯藏品	一八、五三八・一六〇	從業員預り金	一、九一四・六一〇
事業未收金	九二〇・五五〇	利益	一四、六五〇・〇〇〇
預金	一〇八、〇〇〇	當期純利益	一四、六五〇・〇〇〇
現金	六四九・九一〇		
現預金	九五九・七一〇		
雜勘定	二〇・三三〇		
前拂金	九三九・四〇〇		
合計	八〇八、二五四・四六〇	合計	八〇八、二五四・四六〇

第二十七期 損益計算書

自昭和十一年四月十一日  
至昭和十一年四月三十日

利益		損失	
科目	金額	科目	金額
電力料	二九、五八五・三九〇	發電費	二、〇七六・一九〇
電燈料	三二、五九五・二〇〇	購入電力料	七、二九三・七五〇



電熱其他ノ供給料金	一、〇五〇・六五〇	送電電費	一、九八四・七五〇
供給雜益	九〇七・三四〇	變電電費	八八三・七六〇
供給事業利益	六三、一三八・五八〇	配電者屋內費	四、一三一・二七〇
受人利息	二七、八六二・九七〇	需用者屋內費	一、三四一・八一〇
雜收益	三三、三八〇	減價銷却	三、九一四・〇八〇
營業利益	六二〇・五八〇	供給事業利益	一三、六五〇・〇〇〇
銷却債權取立益	二八、五一〇・九三〇	總係費	三三、二七五・六一〇
	一四、六〇二・四四〇	所得稅及營業收管稅	二七、八六二・九七〇
	四七、五六〇	支拂利息	六三、一三八・五八〇
	一四、六五〇・〇〇〇	雜損失	七、九七三・七四〇
		營業利益	二、二〇七・八九〇
		當期純利益	三、五一二・一八〇
			二二四・六八〇
			一三、九〇八・四九〇
			一四、六〇二・四四〇
			二八、五一〇・九三〇
			一四、六五〇・〇〇〇
			一四、六五〇・〇〇〇

七八〇

第二十七期 利益金處分書

當期純利益壹萬四千六百五拾圓也  
 之レヲ處分スルコト次ノ如シ  
 法定準備金 八百圓也  
 役員賞與金 八百五拾圓也  
 株主配當金 壹萬參千圓也

附  
錄

歴代役員

(伊豫鐵道株式會社ヨリ伊豫鐵道  
電氣株式會社ヲ通ジ現在ニ至ル)

小林 信近	初代社長 (明治二十一年上期—三十二年上期)
都築 温太郎	幹事 (明治二十一年上期)
公莊 惟聰	幹事 (明治二十一年上期—二十六年上期) 相談役 (二十八年下期—三十一年下期)
高須 峯造	委員 (明治二十一年上期—二十二年上期) 常議員 (二十二年下期—二十五年下期) 相談役 (二十六年下期—三十二年上期)
仲田 穂三郎	委員 (明治二十一年上期—下期)
鈴木 安職	委員 (明治二十一年上期) 幹事 (二十一年下期—二十六年上期) 取締役 (二十六年下期—二十八年上期)
井上 要	委員 (明治二十一年上期) 監査役 (二十六年下期—三十二年上期) 専務取締役 (三十二年下期—三十八年下期) 三代社長 (三十九年上期—大正六年上期) 五代社長 (大正七年下期—昭和八年上期) 取締役 (昭和八年下期—現在)
八東 喜藏	委員 (明治二十一年上期—二十二年上期) 常議員 (二十二年下期—二十六年上期) 相談役 (二十六年下期—二十八年上期) 監査役 (二十八年下期—三十二年上期) 取締役 (三十二年下期—大正五年下期)
越智 九平	四代社長 (大正六年上期—七年下期) 取締役 (七年下期—九年上期)
山内 清平	委員 (明治二十一年上期—二十二年上期) 常議員 (二十二年下期—二十三年下期)
窪田 節二郎	委員 (明治二十二年上期) 常議員 (二十二年下期—二十五年下期)
藤岡 勘左衛門	委員 (明治二十一年下期—二十二年上期) 常議員 (二十二年下期—二十六年上期) 監査役 (二十六年)

歴代役員

歴代役員

下期二十八上期

正岡 春 齡 委員 (明治二十一年下期—二十二年上期) 常議員 (二十二年下期)

小田 喜 八 郎 委員 (明治二十一年下期—二十二年上期) 常議員 (二十二年下期—二十六年上期)

眞野 昌 平 常議員 (明治二十三年上期—二十五年下期)

二宮 佐 一 平 常議員 (明治二十四年上期—二十六年上期) 相談役 (二十六年下期—二十八年上期) 取締役 (二十八年下期—三十四年下期)

井 年 正 光 常議員 (明治二十六年上期) 取締役 (二十六年下期—三十二年上期)

井 手 正 雄 常議員 (明治二十六年上期) 相談役 (二十六年下期—三十二年上期)

玉 井 正 興 常議員 (明治二十六年上期) 相談役 (二十八年下期—三十二年上期)

吉 田 則 知 常議員 (明治二十六年上期)

仲 田 傳 之 丞 相談役 (明治二十六年下期—三十二年上期)

松 下 信 光 監查役 (明治二十六年下期—三十二年上期) 監查役 (三十三年上期) 取締役 (三十三年下期—大正五年下期)

古 畑 寅 藏 二代社長 (明治三十二年下期—三十三年下期)

増 田 又 七 郎 取締役 (明治三十二年下期—三十三年下期)

片 山 和 助 取締役 (明治三十二年下期—三十三年上期) 監查役 (三十三年下期)

大海 原 尚 義 監查役 (明治三十二年下期—三十三年下期)

前 川 彦 十 郎 取締役 (明治三十三年下期—四十年下期)

宇 條 字 次 郎 取締役 (明治三十三年下期)

中 山 新 七 監查役 (明治三十三年下期)

賀 田 金 三 郎 取締役 (明治三十五年上期—大正九年下期)

廣 瀬 滿 正 監查役 (明治三十五年上期—四十年下期)

金 澤 種 次 郎 監查役 (明治三十五年上期)

村 瀬 正 敬 監查役 (明治三十五年上期—現在)

大 西 和 一 郎 監查役 (明治三十五年上期—大正九年下期)

重 見 番 五 郎 監查役 (明治三十八年下期—四十年下期)

内 藤 爲 三 郎 取締役 (明治四十一年上期—四十二年下期)

吉 川 久 七 監查役 (明治四十一年上期—四十二年下期)

才 賀 藤 吉 監查役 (明治四十五年上期)

井 上 德 治 郎 監查役 (大正二年上期—五年下期) 取締役 (六年上期—昭和二年下期)

岡 本 榮 吉 常務取締役 (大正六年上期—七年上期) 取締役 (七年下期—現在)

新 野 伊 三 郎 常務取締役 (大正六年上期—現在)

仲 田 傳 之 丞 取締役 (大正六年上期—現在)

清 水 義 彰 取締役 (大正六年上期—昭和五年下期)

大 本 貞 太 郎 取締役 (大正六年上期—昭和八年上期) 副社長 (昭和八年下期—現在)

檜 田 寛 二 郎 監查役 (大正六年上期—十年下期)

藤 田 寛 二 郎 監查役 (大正六年上期—昭和六年上期)

徳 本 良 一 監查役 (大正六年下期—九年下期) 取締役 (十年上期—現在)

久 松 定 夫 取締役 (大正十年上期—昭和七年上期)

堀 田 八 郎 取締役 (大正十年上期—昭和六年上期)

卯 之 木 晋 一 郎 監查役 (大正十年上期—昭和二年下期)

清 家 俊 三 監查役 (大正十年上期—昭和十年下期)

歴代役員

田内榮三郎 監査役 (大正十年上期—昭和四年上期)  
 阿部光之助 副社長 (大正十一年下期—昭和七年上期)  
 文野昇二 取締役 (大正十一年下期—昭和六年下期)  
 秋山光五郎 取締役 (大正十一年下期—昭和六年上期)  
 八木春樹 監査役 (大正十一年下期—昭和二年下期)  
 森田恭平 監査役 (大正十一年下期—昭和四年下期)  
 太宰孫九 副社長 (大正十五年上期—昭和八年上期)  
 小倉鎮太郎 取締役 (大正十五年上期—昭和九年上期)  
 浦中友治郎 監査役 (大正十五年上期—昭和六年上期)  
 千賀千太郎 監査役 (昭和三年下期—五年下期)  
 近藤為義 監査役 (昭和三年下期—八年下期)  
 近藤竹次郎 取締役 (昭和八年上期—現在)  
 武智鼎 取締役 (昭和八年上期—現在)  
 阿部秀太郎 取締役 (昭和八年上期—現在)  
 露口悦次郎 監査役 (昭和八年上期—現在)  
 黒川雄之進 監査役 (昭和八年上期—現在)  
 山中義貞 監査役 (昭和八年上期—現在)  
 佐々木長治 監査役 (昭和九年上期—現在)

社長 (昭和八年下期—現在)

合併各社の役員

(合併當時の役員)

道後鐵道株式會社

社長 古畑寅造  
 専務取締役 松下信光  
 取締役 前川彦十郎  
 監査役 中山新七

安田伊平

和田得兵衛

南豫鐵道株式會社

社長 古畑寅造  
 専務取締役 戸井英曉  
 取締役 松下信光  
 監査役 石川市兵衛  
 成子善史郎

吉岡又次郎

法覺小兵衛

伊豫水力電氣株式會社

取締役 新野伊三郎  
 監査役 岡本榮吉

仲田傳之松

清水義彰

合併各社の役員

南海電氣株式會社

合併各社の役員

取締役社長 井上 要

取締役 清水 義彰

監査役 新野伊三郎

松山電氣軌道株式會社

専務取締役 久松 定夫

取締役兼支配人 卯之木 晋一郎

取締役 長島新三郎

取締役 清家 俊三

松山電氣興業株式會社

監査役 武西長次郎

取締役 卯之木 晋一郎

監査役 久松 定夫

愛媛力水電氣株式會社

取締役社長 阿部 光之助

取締役 岡本 榮吉

宇和水電株式會社

専務取締役 太宰 孫九

常務取締役 小倉 鎮太郎

取締役 緒方 陸朗

監査役 川添 九吉

監査役 門野 重九郎

監査役 武村 桂亮

合併各社の役員

取締役 清家 吉次郎

監査役 齋藤 寛

取締役 池田 綾三郎

監査役 東 忠直

川上水力電氣株式會社

監査役 伊川 幸助

監査役 中川 芳太郎

監査役 越智 文太郎

取締役 松本 喜一

監査役 東 忠直

取締役 廣見川 水力電氣株式會社

取締役 清家 吉次郎

監査役 齋藤 寛

監査役 池田 綾三郎

監査役 東 忠直

取締役 伊川 幸助

監査役 中川 芳太郎

監査役 越智 文太郎

取締役 松本 喜一

監査役 東 忠直

取締役 廣見川 水力電氣株式會社

取締役 清家 吉次郎

監査役 齋藤 寛

監査役 池田 綾三郎

監査役 東 忠直

取締役 伊川 幸助

監査役 中川 芳太郎

監査役 越智 文太郎

取締役 松本 喜一

監査役 東 忠直

取締役 廣見川 水力電氣株式會社

取締役 清家 吉次郎

監査役 齋藤 寛

監査役 池田 綾三郎

周桑電気株式会社(買収)

燧洋電気株式会社

小田水力電気株式会社

取締役社長	越智茂登太		
専務取締役	玉井勝次郎		
取締役	渡部角藏	菅峰三郎	渡邊春吉
監査役	余吾一角	安藤芳吉	兼頭熊治郎
取締役	千賀千太郎	新實新十郎	近藤爲義
	早川久右衛門	杉浦銀藏	高石辯治
	森七三郎		
監査役	千賀右次郎	畔柳井三	近藤重三郎
	手島鐵司	近藤岩吉	
取締役社長	都築宗壽郎		
取締役	菊池卯平	大塚直雄	吉本長治郎
	神谷光五郎		
監査役	島津光治	沖田安太郎	土居清雄

歴代幹部社員

二宮重義	庶務係長(明治二十八年)	汽車係長(二十九年)	建築係長(二十八年-三十一年)	建築課長(三十二年)
逸見安太郎	會計係長、運輸係長(明治二十八年-二十九年)			
船田金太郎	汽車係長(明治二十八年)	汽車係長(三十年-三十一年)	汽車課長(三十二年-三十三年)	車輛課長(三十四年-大正五年)
八東九十郎	倉庫係長(明治二十八年)			
伴政孝	庶務係長心得(明治二十九年-三十二年)	運輸係長(三十一年)	運輸課長(三十二年-大正五年)	
關家温情	倉庫係長(明治二十九年-三十二年)	會計係長兼務(三十一年)	主計課長心得(三十二年)	建築課長(三十三年)
池内信嘉	支配人(明治三十二年-三十五年)			
曾根高雄	役員付書記主任(明治三十三年-三十四年)	役員付書記主任兼務(四十一年-四十四年)	主計課長心得(三十五年-三十八年)	主計課長(三十九年-大正五年)
宮内國太郎	主計課長心得(明治三十三年-三十四年)	役員付書記主任(三十五年-四十年)		
吉岡彌藏	保線課長(明治三十八年-四十二年)	運輸課長兼務(大正六年)		
土居幸作	保線課長(明治四十三年-昭和七年)			
相原和一郎	役員付書記主任(明治四十五年-大正五年)	庶務課長(大正八年-十年)	運輸課長(大正十一年-現在)	
近藤竹次郎	技師長(大正六年-現在)	工務課長(大正六年-十年)		
野村浩	庶務課長(大正六年-七年)			
川久保安太郎	電燈課長(大正六年)			
重信佐太郎	車輛課長代理(大正六年)			

露口悅次郎 支那人 (大正七年—昭和六年)  
 武智鼎 會計課長 (大正七年—十年) 總務部長 (大正十一年—十三年) 庶務課長 (十四年) 會計課長兼務 (十三年)  
 眞鍋正治 運輸課長心得 (大正七年) 支那人 (昭和五年—七年)  
 大野林次郎 運輸課長 (大正八年—現在)  
 中村博 會計課長 (大正十一年—十二年)  
 高岡慎吉 電燈課長 (大正十一年—昭和七年) 營業課長 (八年—十年) 業務課長 (十一年—現在)  
 關源吉 工務課長事務取扱 (大正十一年—十二年) 建設課長 (十三年—昭和七年) 工事課長 (八年—現在)  
 白石易太郎 今治支店長 (大正十一年—昭和七年)  
 高橋家次郎 西條支店長 (大正十一年—十二年) 電氣課長 (八年—現在)  
 中路新太郎 工務課長 (大正十三年—昭和七年)  
 山内彦次郎 西條支店長 (大正十三年—現在)  
 河野喜一郎 會計課長 (大正十四年—現在)  
 渡部保次郎 八幡濱支店長 (大正十四年—昭和三年) 調查部第一課主任 (昭和四年—十年) 營業課長 (十一年—現在)  
 川添九吉 宇和島支店長 (大正十四年—現在)  
 大塚小三郎 庶務課長心得 (大正十五年—昭和二年) 庶務課長 (昭和三年—現在)  
 岩本勝彌 調查部第二課主任 (昭和四年—十年) 技術課長 (十一年—現在)  
 奧村偉三郎 八幡濱支店 (昭和四年—現在)  
 湯山常五郎 今治支店長 (昭和八年—現在)  
 三好晴光 大洲支店長 (昭和八年—現在)  
 加藤三十郎 土木課長 (昭和十一年—現在)

永年勤續社員 (三十年以上)

所屬	職名	氏名	勤續年數	入社	退社
保線課	技手補	木下松太郎	三二年一〇月	明治二七年一〇月	大正一五年七月
車輛課	技師補	井手啓次郎	三四年	同三一年八月	昭和七年六月
運輸課	主事補	伊賀上貞次郎	三二年	同三三年二月	同七年二月
車輛課	技手補	加藤太三郎	三〇年	同三五年七月	同七年六月
運輸課	書記	高木秀光	三一年三月	同三〇年一〇月	同二年二月
車輛課	技師補	竹内輝次郎	三一年六月	同三六年一月	同九年六月
大洲支店	主事	曾根高雄	三二年九月	同三三年四月	同七年二月
運輸課	書記	山本春義	三〇年二月	同三七年一月	同九年二月
車輛課	技師補	淺川太郎	三五年六月	同三二年一月	同九年六月
保線課	技手補	木下庄次郎	三五年五月	同二九年三月	同六年七月
運輸課	書記補	三好財次郎	三一年一月	同三三年六月	同六年六月
運輸課	同	武智光次郎	三〇年一月	同二九年三月	大正一五年三月
運輸課	同	山内長太郎	三二年七月	同二七年一月	同二五年七月
主計課	書記	土居榮三郎	三〇年五月	同二〇年一〇月	同七年二月
現社員	主事	大塚小三郎			三三年九月
現社員	同	相原和一郎			三一年九月
現社員	技師補	野村萬次郎			三〇年六月

永年勤續社員



殉職社員

姓名	殉職年月日	所屬	氏名
義實信應居士	明治廿六年五月十日	松山鐵道	土居右三郎
眞月淨光居士	同廿六年九月十一日	同	木戸五郎吉
仙波松太郎命	同卅一年六月二十日	伊豫鐵道	仙波松太郎
春宮忠克命	同卅二年十月三十日	同	春宮忠克
義愛賢光居士	同四十二年十二月三日	同	山内瀧之助
正覺院義哲居士	同四十四年十二月十日	伊豫水力	高橋茂一郎
密林頼成信士	同四十五年六月七日	同	小野大次郎
清光道圓信士	大正元年九月二日	同	吉村安一
正道仁明信士	同三年二月八日	同	川端力松
高月西入信士	同三年六月十三日	同	高岡春吉
福祐自徳居士	大正三年七月廿五日	伊豫水力	大畑逸男
兼譽蓮風爽然居士	同三年七月廿五日	同	垂井明夫
心覺清淨居士	同三年十一月廿五日	愛媛水力	井上幸太郎
英明院道光日健居士	同三年十二月廿四日	車輛課	北村健馬
金蓮即得居士	同四年八月三日	伊豫水力	松田金太郎
見嶽了性信士	同四年十月三十日	宇和水電	菊池五平

姓名	殉職年月日	所屬	氏名
霜林電影居士	大正五年十二月二日	伊豫水力	小島助三郎
眞忠義列居士	同六年三月十九日	工務課	相原權四郎
實相道範信士	同六年十月廿四日	同	今井音吉
鶴然玉道居士	同六年十一月八日	同	龜井鶴義
靈廓圓融居士	同七年二月十二日	同	白方寅一
吉田伊平命	同八年三月十八日	同	吉田伊平
山口春道命	同八年五月一日	大洲支店	山口春道
眞興浮光明道居士	同八年九月十一日	保線課	高橋竹次郎
眞覺常光信士	同八年十二月十三日	宇和水電	三原彦左衛門
善解義趣信士	同九年五月二十日	松山電氣	星加繁吉
仁然義秀信士	同九年十月廿九日	愛媛水力	宇佐美鬼佐雄
眞山良收居士	同十一年一月十五日	宇和水電	土居良之輔
頼成道念居士	同十一年四月二十日	伊豫鐵道	伊藤留吉
觀無相生居士	同十一年七月四日	同	武智正行
本觀和妙信士	同十一年十一月十九日	同	大西和市
一點梅蕊居士	同十二年二月二日	宇和水電	山家太一
義道法喜信士	同十二年二月十五日	同	濱田義喜
春霞龜居士	同十二年四月一日	同	竹村龜五郎
横田義信比古	同十二年四月廿四日	車輛課	横田義信

殉職社員

清山宗榮居士	大正十三年七月三日	宇和水電	黑田榮
高雲盡明居士	同 十三年七月五日	電燈課	鶴久森庄市
義山宗徽居士	同 十三年七月七日	宇和水電	井上政一
厚馬傳燈犧牲居士	同 十三年九月八日	工務課	上野寅見
清心智範居士	同 十三年十月廿三日	蠶洋電氣	平山清重
完屋知雄居士	同 十四年十二月四日	工務課	門田折三郎
興德院鐵心顯道居士	同 十五年五月十七日	大洲支店	船田小三郎
法雲齋亮岳道輝居士	同 十五年五月十八日	同	富永春一郎
本願院明照居士	同 十五年七月二十日	八幡濱支店	田中雅明
誠道元忠信士	同 十五年八月三日	宇和島支店	松田繁雄
氏原直政命	同 十五年八月十六日	同	池田好五郎
南岳道義信士	同 十五年九月廿二日	同	石川住太郎
觀心明道信士	同 十五年十一月廿六日	蠶洋電氣	竹田愛次郎
釋教海信士	昭和二年七月廿四日	今治支店	宮部甚太郎
常信是道信士	同 三年一月廿三日	八幡濱支店	岡本好
原道義彰居士	同 三年一月廿八日	今治支店	佐々木利三郎
全影智透居士	同 三年二月五日	運輸課	友近守
釋溫良雄正居士	同 三年七月三十日	車輛課	川又鹿藏
眞觀殉道信士	同 三年八月廿四日	今治支店	

殉職社員

金光軒輝心慈定居士	昭和三年八月三十日	宇和島支店	中田金良
覺與義道居士	同 三年十二月廿二日	電燈課	佐々木三郎
誠心廣明居士	同 四年二月十七日	運輸課	穴戶廣明
定譽即行居士	同 四年八月二十日	宇和島支店	岡本武夫
嚴譽開關法城居士	同 五年二月十五日	保險課	村本藤城
清光院義顯居士	同 五年八月十六日	八幡濱支店	菊池荒一
乘義貫信士	同 六年三月廿三日	工務課	宮崎市郎次
法傳犧牲居士	同 六年五月七日	電燈課	村上傳次
觀應道光居士	同 六年五月廿六日	宇和島支店	林上茂儀
自覺常圓信士	同 六年六月十六日	今治支店	眞鍋瀧一
直心道入居士	同 六年七月十七日	宇和島支店	土居昇
嘉岳支詳信士	同 七年五月二十日	同	宮脇嘉重郎
慈覺道顯居士	同 七年六月廿六日	電燈課	篠崎歲吉
德樹清光居士	同 七年九月廿七日	八幡濱支店	阿部清一
溫諄厚德居士	同 七年十一月廿二日	車輛課	三好幸太郎
乘明仁昇信士	同 八年七月十七日	電氣課	越智仁作
天眞宗守居士	同 八年七月三十日	西條支店	武方壽一
大智慧觀居士	同 八年八月八日	宇和島支店	菊池恒夫
柏嶽惠猛居士	同 八年十一月十三日	同	大野猛

役員

本覺兼道信士	昭和九年五月廿六日	工務課	栗林兼吉
齋藤勤孝登居士	同 九年五月三十日	車輪課	島登
眞譽清順居士	同 九年七月一日	宇和島支店	西本善太郎
信泰明道居士	同 九年九月五日	同	山中信長
本行院靜信日馨信士	同 九年十一月十九日	工事課	森靜信
釋眞證居士	同 十年六月廿三日	今治支店	八木道直
正覺勇住居士	同 十年十一月十一日	西條支店	眞鍋正之
徳林覺法居士	同 十一年五月十一日	同	佐伯長吉
光明法律居士	同 十一年五月廿一日	土木課	吉村命吉
金蓮隆譽居士	同 十一年九月一日	電氣課	山本隆恒

年表

伊豫鐵道會社

明治十九年	一月二十三日	輕便鐵道(松山三津間)布設願書ヲ愛媛縣知事へ提出(小林信近外一名)
	一月廿三日	出願松山三津間鐵道布設ノ件愛媛縣知事ヨリ許可
二十年	九月十四日	松山鐵道會社創立總會ヲ縣會議事堂ニ於テ開催定款變更其他附議同日役員選舉
	十月七日	創立總會ニ於テ議定セル定款變更停車場増設及工事方法變更ニツキ内閣ニ出願
二十一年	二月二十三日	二十年十月七日出願ノ定款變更ノ件其他認可セラル
	二月二十六日	臨時株主總會ヲ西堀端町勸善社ニ於テ開催停車場位置變更資本額額換ノ件等ニツキ附議同時ニ役員補選ヲナス
	五月八日	松山、三津間鐵道敷設工事越智組ニ於テ着工
二十二年	八月九日	創設商會へ注文ノ獨逸製機關車客車其他機械三津ヶ濱へ陸揚ヲナス
	九月二十一日	九月八日出願ノ松山停車場位置變更ノ件内閣ヨリ認可
	九月二十八日	松山三津間鐵道工事成功ノ旨鐵道局へ届出
	十月二十三日	工事落成式ヲ舉行ス
	十月二十七日	鐵道開業免狀ヲ下附セラル
	十月二十八日	鐵道運輸開始(營業噸數四哩停車場松山、三津口、三津)
二十二年	一月十九日	第二回定時總會ヲ法龍寺ニ於テ開催、貳萬圓増資其他決議、役員改選
	一月二十一日	資本金貳萬圓増額ノ内閣總理大臣ニ出願ス
	二月十九日	午後八時三津發終列車古三津村御成橋筋踏切線路ニ於テ石ヲ置キ妨害セシ者アリ爲メニ機關車轉覆客車三輛脱線翌二十日午後二時迄運輸ヲ休止セリ
	二月二十二日	一月二十日出願ノ資本金貳萬圓増額ノ件内閣ヨリ認可セラル
	六月十八日	衣山村及古三津村線路出水ノ爲終列車中途運輸ヲ休止セリ

七月二十日 臨時總會ヲ法龍寺ニ於テ開催、定款變更其他ヲ附議

七月二十一日 臨時總會繼續開催、定款變更其他附議

七月二十三日 定款改正認可ヲ内閣總理大臣へ上申ス

七月三十一日 七月二十三日出願ノ定款改正ノ件認可セラル

二十三年

一月十九日 臨時總會ヲ公會堂ニ於テ開催、役員改選

七月十九日 臨時總會ヲ公會堂ニ於テ開催

二十

一月十七日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、高預及久米延長ノ件可決及役員改選

一月二十五日 久米線及高預線鐵道延長ヲ内務大臣へ出願

四月一日 一月二十五日出願ノ高預及久米延長線假免狀内務大臣ヨリ下附セラル

五月十七日 臨時株主總會ヲ公會堂ニ於テ開催、定款變更ノ件其他附議

六月一日 平井河原迄鐵道延長及定款變更ノ件内務大臣へ出願

七月十八日 第六回臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

八月十一日 臨時總會ヲ公會堂ニ於テ開催

七月二十三日 六月一日出願平井河原迄鐵道延長ノ件假免狀下附セラル、同日出願定款變更ノ件認可

二十五年

一月十六日 第七回臨時株主總會ヲ公會堂ニ於テ開催、高預

三月十一日 延長線ニ係ル増資ノ件ヲ附議同時ニ役員改選旅客及貨物賃金變更ノ報告書鐵道總長官へ提出ス

四月十一日 高預延長線工事落成ニツキ鐵道總長官へ開業免狀下附出願

四月二十八日 四月十一日出願高預線開業免狀下附セラル、三月十一日出願旅客及貨物賃金變更ノ件認可セラル

五月一日 高預延長線開業

五月二日 風雨ノ爲メ高預線道前後切取箇所崩落二日間三津高預開列車運轉休止セリ

五月七日 高預延長線開業式ヲ舉行ス

五月二十三日 資本金五千圓増加ノ件ヲ内務大臣ニ出願ス

七月二十日 第八回臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

八月十二日 五月二十三日出願資本金五千圓増加ノ件逓信大臣ヨリ認可

二十六年

一月二十七日 第九回臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

二月二十二日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、第二區(平井河原延長線)起業費補充ノ爲堂員増資、社債募集定款變更ノ件附議

三月四日 臨時株主總會ニテ決議セル資本金増加及定款變更ノ件逓信大臣へ出願

三月十八日 三月四日出願資本金増加並ニ定款變更ノ件認可

四月十六日 平井線延長工事竣功ニツキ鐵道總長官ニ届出

五月四日 平井延長線開業免狀下附セラル

五月七日 平井延長線開業

五月十二日 平井河原線々路修繕ニ着手六月二日迄運轉休止セリ

六月十七日 臨時總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、第一區(高預線)第二區(平井河原延長線)經濟合同定款變更ノ件等附議之レガ調査ヲ調査委員ニ附託前總會繼續開催、原案修正可決、役員改選

六月二十二日 六月二十二日臨時總會ノ決議ニヨル定款改正ノ件逓信大臣ニ出願

六月二十七日 森松線延長ノ件逓信大臣ニ出願

七月二十日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

十月十四日 暴風雨ノ被害ニテ高預三津間ハ二日、三津外側間ハ半日外側平井河原間ハ八日間列車運轉ヲ休止セリ

十月二十四日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、定款變更第一區第二區森松線延長線經濟合同前決議一部變更決議

十一月八日 定款變更ノ件出願

十二月一日 森松線延長假免狀逓信大臣ヨリ下附セラル

十二月二十一日 十一月八日出願定款變更ノ件認可

二十七年

一月二十二日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

三月十三日 森松線延長線本免狀下附出願

五月十日 大阪株式取引所ニ於テ當社株券買賣取引開始

六月十一日 定款改正ノ件出願(逓信省)

七月三日 森松延長線本免狀下附セラル

七月二十日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、臨時株主總會ヲ同所ニ於テ開催、取締役、相談役、監査役ノ改選借入金ノ件附議

九月十六日 臨時株主總會開催、森松延長線興業費増募更正

九月二十三日 平井河原延長線興業費増募更正、定款變更増募株募集ノ件等ヲ附議ス

九月二十三日 前記臨時總會繼續開催、森松延長線工事取止ノ假決議ヲナス

十月十日 臨時總會再開、九月二十三日臨時總會假決議ヲ否決シ原案可決並ニ九月十六日提出議案假決議

十月三十日 十月十日臨時總會假決議議定

定款改正ノ件出願(逓信省)

二十八

一月二十一日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

二月一日 廿七年十月三十日出願セル定款改正ノ件逓信大臣ノ認可ヲ受ケタリ

五月二十二日 運送規則改正ノ件ヲ逓信大臣へ出願

七月十八日 臨時總會ヲ法龍寺ニ於テ開催ス、臨時總會ヲ引續キ開催、役員報酬及賞與金改正ノ件ヲ附議役員改選

八月二十九日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、取締役補選、故取締役鈴木安藏遺族へ祭祀料贈

九月二十一日 森松延長線ノ内石井村居相ニ臨時停車場設置ノ件通信大臣ニ申請十二月二日之ガ認可ヲ得タリ

十一月七日 森松延長線ニ係ル乗車賃金ノ規定並同線開業ニ伴フ賃金改正ノ件ヲ通信大臣ニ申請ス

十二月七日 森松延長線工事竣功ニツキ通信大臣ニ届出

十二月二十七日 十一月七日申請ノ乗車賃金改正ノ件通信大臣ノ認可ヲ得タリ

二十九日

一月二十日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

一月二十五日 森松線開業免許狀下附セラル

一月二十六日 森松線營業開始ス

四月二十日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、横河原迄鐵道延長資本六萬圓増加、定款改正ノ件其他ヲ附議シタレドモ議定ニ至ラズ散會

五月二日 前記臨時總會開催、出席株主規定員數ニ充タザルヲ假決議トス

五月九日 森松線開業式ヲ九月十日兩日ニ互リテ舉行ス

五月二十七日 臨時總會再開、五月二日ノ假決議ヲ議定ス

七月十八日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、臨時總會開催、定款改正其他議決

七月二十四日 七月十八日臨時總會ニ於テ議決シタル定款變更ノ件通信大臣ニ出願ス

八月二十八日 五月二十七日株主總會ニ於テ議決セル平井河原ヨリ横河原迄鐵道線延長免許狀下附ヲ通信大臣ニ出願ス

十月二日 高濱線中新濱村池山へ鐵道貨物積卸ノタメ臨時停車場設置ノ件ヲ通信大臣ニ出願ス

七月二十四日 出願ノ定款變更ノ件通信大臣ノ認可ヲ得タリ

三十年

一月十八日 旅客賃金改正ヲ通信大臣ニ出願

一月二十一日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

四月十四日 一月十八日出願ノ旅客賃金改正ノ件通信大臣ノ認可ヲ得タリ

七月十六日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、臨時株主總會開催、機關車二台買入注文ノ件ヲ議定役員改選

十月十日 第九回私設鐵道懇話會ハ當社ノ引受願ニ相當セシヲ以テ之ヲ松山市ニ於テ開催ス

三十二年

一月十五日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

三月五日 横河原延長線測量設計ニ着手

四月十九日 旅客賃金變更ノ件通信大臣ニ出願

四月三十日 貨物運送規則改正ノ件出願

五月十一日 四月十九日出願ノ旅客賃金變更ノ件認可ヲ受ケタリ

六月十一日 四月三十日出願ノ貨物運送規則改正認可ヲ受ケタリ

六月十六日 刺賀商會ヲ經テ獨逸タラウス製鐵會社へ注文セ

七月十三日 機關車二台到着

七月十三日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、臨時株主總會開催、横河原延長線測量正案準備

九月八日 立金一時給付並ニ定款變更ノ件ヲ議定

九月二十一日 二十九日八月二十八日出願ノ横河原延長線免許狀下附セラル

九月二十二日 横河原延長線本免許狀下附ヲ出願、定款改正出願

十二月二十日 九月二十二日出願ニ係ル横河原延長線本免許狀下附ヲ受ケタリ

三十二年

一月十六日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催

一月二十一日 三十一年九月二十二日出願ニ係ル定款改正ノ件認可ヲ受ケタリ

六月十日 梅津寺へ臨時停車場設置ノ件通信大臣へ出願

七月六日 六月十日出願ノ梅津寺臨時停車場設置ノ件認可ヲ得タリ

七月十五日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、臨時株主總會開催、役員給料ノ件議定役員改選

九月十二日 横河原延長線工事落成届ヲ通信大臣ニ届出

九月十三日 平井河原横河原間旅客賃金測定及賃金改正認可出願

十月三日 横河原延長線開業免許狀下附セラル、九月十三日出願ノ平井河原、横河原間旅客賃金測定及賃金變更ノ件認可

十月四日 横河原延長線營業ヲ開始ス

十一月十五日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、定款改正ノ件議定及役員改選ヲナス

十二月十三日 定款改正ノ件出願

十二月二十日 十二月十三日出願ノ定款改正ノ件認可ヲ受ケ

三十二年

一月二十二日 臨時株主總會ヲ大阪市東區平野町堺加樓ニ於テ開催、監査役補缺選舉、臨時總會ヲ同所ニ於テ開催、南港鐵道株式會社及道後鐵道株式會社ヲ當會社ニ合同ノ方法及交渉ノ件ヲ議定

二月二十五日 臨時株主總會ヲ大阪市堺加樓ニ於テ開催、南港及道後兩鐵道會社買收ニ關スル議案及契約書案鐵道線路延長願ノ件、定款及株式募集方法改正役員給料改正及改正定款ニ基ク役員推選ノ件ヲ議定ス

三月三日 南港及道後鐵道株式會社鐵道全線路ヲ延長線トシ運輸營業ノ免許狀下附ヲ出願(通信省)、定款改正認可ヲ出願(通信省)

四月十三日 三月三日出願ニ係ル南港及道後鐵道株式會社鐵道全線路ヲ延長線トシ運輸營業ノ件免許セラ

四月二十四日 三月三日出願ノ定款變更ノ件認可

五月一日 南港道後兩鐵道並附屬財產買收、從來兩鐵道ノ營業セシ通り運輸營業ヲ開始セリ、新制定諸規則ヲ實施ス

年表

五月十五日 旅客貨金變更ノ件出願  
 五月十六日 藤原停車場廢止認可ノ通信大臣ニ出願、建設費豫算更正認可ヲ出願  
 五月二十八日 五月十六日出願ノ藤原停車場廢止ノ件認可セラ  
 五月二十九日 五月十六日出願建設費豫算更正ノ件認可ヲ受タ  
 七月十六日 臨時株主總會ヲ大阪市東區堺町樓ニ於テ開催、臨時株主總會ヲ同所ニ於テ開催、新商法適用ニ伴フ定款改正ノ件ヲ議定  
 八月四日 地蔵町停車場新設ノ件ヲ通信大臣ニ出願  
 九月一日 八月四日出願ノ地蔵町停車場新設ノ件認可セラル  
 九月十一日 七月十六日臨時總會ノ決議ニ基テ定款改正ノ件出願  
 九月二十八日 九月十一日出願ノ定款改正ノ件認可ヲ得タリ、旅客貨金額引率制定ノ件出願(通信省)、手荷物、小荷物、貴重品等及貨物保管料貨切貨車積置料貴重品目並運賃制定ノ件出願(通信省)、貨切車過積料金ノ件出願(通信省)  
 十月十八日 九月廿八日出願ノ手荷物其他保管料、貨車積置料、貴重品運賃ノ件等認可  
 十一月十五日 石井停車場及岸相臨時停車場廢止ノ件出願、石井假停車場設置出願  
 十二月六日 九月二十八日出願貨切車過積料金ノ件認可  
 十二月二十七日 十一月十五日出願石井停車場及岸相臨時停車場廢止ノ件認可

同 三十四年

一月十六日 臨時株主總會ヲ大阪市東區平野町堺町樓ニ於テ開催、監査役改選、石井假停車場並ニ地蔵町停車場ニ係ル旅客運賃制定並ニ旅客運賃一部變更ノ件出願(通信省)  
 一月二十四日 石井假停車場使用開始許可  
 二月十八日 一月十六日出願旅客運賃制定並ニ旅客運賃一部變更ノ件認可  
 二月二十一日 石井假停車場並ニ地蔵町停車場開始、石井及岸相臨時停車場廢止  
 四月九日 午前一時頃本社車輛誤附屬工場火災ニ罹リ同建  
 四月二十四日 物六拾餘坪ヲ燒失シタルモ器械類ハ無事、此ノ損害千二百十圓一錢五厘ナリ  
 四月二十四日 大阪出張所ヲ廢止ス  
 五月五日 鐵道旅客運賃改正ノ件通信大臣ニ出願、從來ノ貨率ヲ改正シ一厘金一錢七厘トス  
 六月二十一日 五月五日出願旅客運賃改正ノ件通信大臣ニ於テ認可セラレタリ  
 七月十八日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催  
 七月十九日 六月二十七日出願ノ手荷物其他運賃等並大貨物運賃及設備手数料等ノ件認可  
 八月九日 鐵道建設規程工事方法ノ件申請  
 九月三日 大貨物設備手数料一部變更ノ件申請  
 九月十三日 九月三日出願大貨物設備手数料一部變更ノ件認可

同 三十五年

一月十六日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、取締役及監査役任期満了ニ付改選  
 五月十四日 旅客運賃一部變更ノ件申請  
 五月二十一日 五月十四日申請旅客運賃一部變更ノ認可  
 七月十六日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、取締役二名改選  
 八月二十五日 手小荷物一時預リ規程認可申請  
 九月一日 八月二十五日申請手小荷物一時預リ規程認可  
 十一月五日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、高濱停車場ヨリ海岸迄線路延長高濱停車場ヲ同海岸ニ移轉ノ件議定  
 同 三十六年  
 一月十四日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、監査役改選  
 一月二十四日 高濱停車場位置變更ノ件認可申請

同 三十七年

三月二日 小荷物運賃規定ノ件認可申請  
 三月七日 三月二日申請小荷物運賃規定認可、旅客運賃一部變更認可申請  
 三月十一日 三月七日申請ノ旅客運賃一部變更ノ件認可  
 三月十六日 官報、山陽鐵道會社線、大阪商船會社高濱字品線ト連帶運輸ヲ開始ス  
 三月十七日 一月二十四日申請高濱停車場位置變更ノ件認可  
 五月六日 連絡貨物運賃認可申請(山陽鐵道會社ト連帶)  
 五月二十日 五月六日申請ノ連絡貨物運賃ノ件認可  
 五月三十日 旅客運賃一部變更認可申請  
 五月三十日 社債五萬圓募集認可申請(通信省)  
 六月九日 五月三十日申請社債五萬圓募集ノ件認可セラル  
 七月七日 五月三十日申請旅客運賃一部變更ノ件認可  
 七月十六日 臨時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ同所ニ於テ開催  
 八月一日 社債券(五萬圓)發行ス  
 十月十四日 皇太子殿下(大正天皇)午後四時半三津濱御番午後五時十分三津濱發本社並立御召列車ニ御乗車五時三十分松山御着アラセラレタリ  
 十月十七日 皇太子殿下(大正天皇)ニハ午前八時二十分古町驛發本社御召列車ニ御乗車三津濱(向ハセラレタリ、御召列車御送迎シ申上ゲタル康ニヨリ東宮太夫ヨリ會社及社員ヘ夫々金員御下賜相成リタリ

年 表

一月十六日 定時株主總會ヲ松山市公會堂ニ於テ開催ス、  
 議役、監査役改選

七月十六日 定時株主總會ヲ松山市末廣町二丁目松山商業銀行ニ於テ開催、取締役改選、臨時總會ヲ引續キ開催、社債金二萬圓募集ノ件ヲ決議

九月二十七日 社債金二萬圓募集ノ件認可申請(逕信者)

九月二十九日 九月二十一日申請ノ社債金二萬圓募集ノ件認可  
 連帶手小荷物運賃變更認可申請(逕信者)

十月二十日 十月二十日申請ノ連帶手小荷物運賃變更ノ件認可

十一月二十二日 木屋町停留場ヲ簡易停車場ニ特許出願(逕信者)

十二月二日 高濱停車場(移轉停車場)使用開始認可申請(逕信者)

十二月十三日 十二月十三日申請高濱停車場使用開始ノ件認可

十二月二十八日 十二月二十八日申請高濱停車場使用開始ノ件認可

同 三十八年

一月十六日 定時株主總會ヲ松山市末廣町松山商業銀行ニ於テ開催、監査役改選

二月七日 三十七年十二月二日出願ノ木屋町停車場ヲ簡易停車場ニ變更ノ件特許セラル

七月十七日 定時株主總會ヲ松山市末廣町松山商業銀行ニ於テ開催引續キ臨時總會ヲ開催、資本金拾五萬圓增加ノ件新株式募集方法及定款改正ノ件ヲ議定

七月二十一日 七月二十一日申請定款變更ノ件認可

八月二十九日 七月二十一日申請定款變更ノ件認可

同 三十九年

年 表

一月十六日 定時株主總會ヲ松山市末廣町松山商業銀行ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催、新株三千株ニ對スル第一回拂込及募集ニ關スル報告ヲナセリ

一月二十九日 松山風裁列所ニ於テ資本金十五萬圓增加ノ登記ヲ了ス

六月三十日 社債金中四萬五千圓償還ス

七月一日 社債金中五千圓償還

七月十六日 定時株主總會ヲ松山市末廣町二丁目松山商業銀行ニ於テ開催、取締役二名改選、引續キ臨時株主總會ヲ開催、社債中交通頻繁ノ區間ニ漸次電氣鐵道ヲ變換ノ件並ニ之レガ建設費ニ充ツルタメ社債金十五萬圓(年利八厘以内償還年限十五年以内)募集ヲ取締役二任ノ件ヲ決議

八月三十日 定款第二條變更認可申請(逕信者)

十二月二十一日 關西汽船同型本部ト連帶運輸開始

十二月二十五日 社債金中一萬圓償還ス

同 四十年

一月十六日 定時株主總會ヲ松山市末廣町松山商業銀行ニ於テ開催、監査役改選、引續キ臨時株主總會開催

二月十二日 資本金拾五萬圓增加、新株式募集方法、工事豫算及出願上更正ヲ要スル事項ハ役員會決議ニ一任スル件並ニ定款第四條及第七條變更、附則追加ノ件等議定ス

二月十二日 定款第四條及第七條改正並ニ附則追加ノ件認可

年 表

三月十六日 二月十二日申請定款改正ノ件認可

七月一日 港山貨物停車場廢止ス

七月十六日 定時株主總會ヲ松山市末廣町松山商業銀行ニ於テ開催

九月三十日 臨時株主總會ヲ松山市末廣町松山商業銀行ニ於テ開催、増資新株九千株募集ニ關スル報告ヲナセリ

十月二日 松山風裁列所ニ於テ資本金四十五萬圓增加登記ヲ了セリ

十一月一日 既送手、小荷物、死體、貴重品、小動物ノ運賃及其取扱手續改正ノ件認可ヲ申請

十一月十五日 十一月一日申請手小荷物其他ノ運賃及其取扱手續改正ノ件認可

十二月二十五日 社債額額金壹萬圓償還セリ

同 四十一年

一月九日 古町一番町間線路改築並電氣動力使用ノ件出願(逕信者)

一月十六日 定時株主總會ヲ松山市末廣町松山商業銀行ニ於テ開催、取締役、監査役改選

二月二十五日 一月九日出願ノ古町一番町間線路改築並電氣動力使用ノ件認可及其ノ工事方法特許セラル

七月十六日 定時株主總會ヲ松山市末廣町松山商業銀行ニ於テ開催

九月十日 久保町ニ新築セル本社事務所並ニ松山停車場落

年 表

十月十七日 成移轉セリ

十一月十七日 十七、十八日ノ兩日ニ亘リ開業二十年記念祝典ニ兼テ本社事務所並ニ松山停車場改築落成祝典ヲ舉行セリ

同 四十二年

一月十六日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社樓上ニ於テ開催、監査役改選

六月九日 新川假停車場設置認可出願(内閣)

六月十九日 六月九日出願ノ新川假停車場設置ノ件認可

七月十六日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社樓上ニ於テ開催

十二月一日 出合停車場移轉認可出願(内閣)

同 四十三年

一月十七日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社ニ於テ開催、取締役及監査役改選

一月二十八日 四十二年十二月一日出願ニ係ル出合停車場移轉ノ件認可

七月四日 出合停車場ヲ貨物停車場ニ變更ノ件認可出願(内閣)

七月十六日 出合停車場ニ係ル旅客賃金制定認可申請(内閣)

七月十八日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社ニ於テ開催、引續キ臨時總會開催

七月二十日 新設ノ郡中線岡田停車場竣功營業ヲ開始ス

十一月四日 七月四日申請ノ岡田線ニ係ル旅客賃金制定ノ件認可(内閣)

三津停車場貨物側線(堀川線)増設申請

同 四十四年

一月五日 午後十時頃松山藩内車輻修繕庫ヨリ出火シ、客車庫二棟ニ延焼シ建物三棟並ニ在庫ノ客車十二輛、三等殺急合造車三輛、專用殺急車一輛有蓋貨車二輛其他ヲ燒失機關車二輛ヲ燒損セリ  
 一月十六日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催、取締役監査役選舉當社鐵道ハ自今輕便鐵道法ニ依ルベキモノト指定命令セラル(内閣)  
 四月十一日 官線ト尾道高濱鐵路石崎汽船ヲ介シテ當社線ト運帶運輸ヲ開始ス  
 六月二十九日 客車二十輛建造工事竣成ス  
 七月十六日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社ニ於テ開催  
 七月二十四日 古町一番町間改裝線路使用開始ノ件認可ヲ申請(内閣)  
 八月五日 七月二十四日申請ノ古町一番町間改裝線路使用開始ノ件認可  
 八月八日 古町一番町間ハ蒸氣車ヲ廢シテ電車ニ改メソノ運轉ヲ開始ス  
 十一月十六日 三津口、千秋寺前ノ二箇所ニ停留場ヲ設置ス  
 同 四十五年(大正元年)  
 一月十六日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催、取締役監査役選舉旅費費金改正認可申請(逓信省)  
 五月三十一日 五月三十一日申請旅費費金改正認可(逓信省)  
 六月十四日

大正二年

七月五日 道後一番町驛間ニ御寶町停留場ヲ設置  
 七月十六日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催、定款改正議定  
 八月十日 平井、田窪驛間ニ播磨塚停留場(貨物)ヲ設置ス  
 一月十六日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催、監査役選舉  
 三月二十五日 一万停車場設置、營業ヲ開始ス  
 七月十六日 定時株主總會ヲ松山市久保町本社ニ於テ開催  
 七月三十一日 石崎汽船株式會社新居濱航路各港ト社線運帶運輸開始ノ件鐵道院ニ届出  
 八月二十八日 大島汽船株式會社防波線航路各港ト社線運帶運輸開始ノ件鐵道院ニ届出  
 十二月二十二日 臨時株主總會ヲ松山市久保町本社ニ於テ開催、松山電氣鐵道株式會社ト合同ノ件、之ニ伴フ定款改正ノ件並ニ社債發行ノ件ヲ附議セシモ之レハ委員附託トナシ五名ノ委員選舉總會ハ延期トス  
 十二月二十五日 松山電氣鐵道株式會社ト合同ノ件ニ關スル委員會ヲ本社ニ於テ開催ス  
 同 三年  
 一月一日 町名整理ノ結果本社所在地名ヲ松山市大字壽町五丁目十三番地ト改稱セラレタリ  
 一月十六日 定時株主總會ヲ松山市港町五丁目本社ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催、取締役監査役

同 四年

二月五日 松山電氣鐵道株式會社ニ對シ合同假契約廢棄ノ通告ヲナス  
 七月十六日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 十二月二十四日 午後零時五分松山、余戸間ニテ列車牽引機關車ノ動輪軸折損ノ爲メ轉覆機關車ハ即死、火夫等負傷

大正六年

十月二日 九月二十一日申請伊豫水力電氣株式會社ト合併認可(内閣)  
 十月二十九日 九月二十一日申請伊豫水力電氣株式會社ト合併認可(逓信省)  
 十二月三十一日 伊豫水力電氣株式會社合併引續終了、同時ニ商號ヲ伊豫鐵道電氣株式會社ト改稱ス

伊豫鐵道電氣株式會社

一月十六日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、臨時總會ヲ引續キ開催、取締役員一名ノ選舉ハ次期迄延期ノコトニ決議  
 七月十六日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 一月十六日 定時株主總會ヲ松山市港町本社ニ於テ開催、臨時株主總會ヲ開催、監査役選舉  
 四月三十日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、松山電氣鐵道株式會社ト合併ノ件及之ニ伴フ定款變更ノ附議合併假契約書ハソノ變更修正ヲ取締役ニ委任ニ決ス  
 七月十二日 定時株主總會ヲ松山市港町本社ニ於テ開催  
 九月十八日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、伊豫水力電氣株式會社ニ合併並ニ定款變更ノ件附議原案通り決議  
 九月二十一日 伊豫水力電氣株式會社ト合併認可ノ内閣總理大臣及逓信大臣ニ申請

一月二十日 定時株主總會ヲ松山市港町五丁目本社ニ於テ開催、伊豫水力電氣株式會社合併ニ因ル増資報告、取締役監査役選舉  
 一月二十六日 伊豫水力電氣株式會社合併ニ因ル登記ヲ了ス  
 二月二十五日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役報酬改定ノ件、財務金、弔慰金贈呈ノ件ヲ議決  
 七月二十日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、監査役補缺選舉  
 九月三日 電氣部港町本社へ移轉ス(櫻町ヨリ)  
 九月二十日 大正二年十二月十七日出願黒川水利使用ノ件認可(電燈縣)  
 九月二十五日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、資本金額二百萬圓ヲ増加シテ總額四百萬圓ニ増加ノ件及定款變更ノ件ヲ議決  
 九月三十日 本社増資工事全部落成  
 十一月三日 伊豫郡北伊豫村電氣工事施行ノ件認可セラレタ



(選信者)

十二月十五日 伊豫郡廣田村電氣工事施行ノ件認可  
 十二月二十日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役監査役選擧、八東喜藏社長ニ當選、井上要ハ取締役就任ヲ辭シタリ

同 七年

一月十四日 大正六年七月二十四日及八月十一日申請ニ係ル黒川第二發電所増設ノ件認可(選信者)  
 一月二十二日 新株四萬株ニ對スル第一回拂込完了  
 一月二十六日 拂嶋松山活動寫眞館ヨリ出火本社並ニ松山停車場及社員合宿所焼燬ス、之レガ損害合計五萬七千圓餘ナルモ該建物ハ日本及東京兩火災保險會社ニ保險契約アリ兩會社ヨリ三萬四千五百圓ノ損害填補ヲ受ケタルタメ純損失ハ貳萬壹千五百圓ナリ  
 二月九日 荷物運送規定改正認可申請(内閣)  
 二月二十日 臨時株主總會ヲ松山市二番町愛媛縣農工銀行ニ於テ六年九月二十五日臨時總會決議ニ基テ資本金二百萬圓増加新株募集ニ關スル事項ヲ報告承認ヲ得タリ  
 三月十六日 松山電氣軌道株式會社ト營業上協定成立シ監督官廳ノ認可ヲ得タリ  
 四月一日 松山電氣軌道株式會社ト協定セル改正電氣供給規定實施ス  
 四月十二日 旅客貨金並ニ運賃割引率則改正認可申請ス(内閣)

關)

五月十一日 二月九日及四月十二日申請ノ荷物運賃規定及旅客貨金改正ノ件認可セラル(内閣)  
 六月六日 松山電氣軌道株式會社ト協定ノ改正貨客運賃實施ス  
 六月二十日 定時株主總會ヲ松山市壽町六丁目伊豫鐵道電氣株式會社社友俱樂部ニ於テ開催取締役補缺選舉ヲ行ヒ井上要當選  
 七月十二日 午前九時三十六分中線岡田、余戸驛間ニ於テ暴風雨ノ爲メ客車五輛轉覆乗客ノ中七名負傷シタリ、亦暴風雨ノタメ黒川發電所水路鐵橋ノ側面鐵橋約十間崩壞シ水路ヲ埋沒發電所ハ床上浸水三尺ニ及ベリ  
 七月二十七日 手小荷物運賃及料金規程改正ノ件認可ヲ申請ス(内閣)  
 八月二日 貨物特定運賃及貨物集配料金制定認可ヲ申請ス(内閣)  
 八月十四日 七月二十七日申請ノ手小荷物運賃及料金規程改正ノ件認可  
 八月二十二日 八月二日附申請貨物特定運賃及貨物集配料金制定ノ件認可  
 十月十二日 貨物特定運賃改正認可ヲ申請ス(内閣)  
 十一月十一日 旅客貨金改正認可ヲ申請ス(内閣)  
 十一月十六日 十一月十一日申請旅客貨金改正ノ件認可セラル  
 十一月十八日 十月十二日申請貨物特定運賃改正ノ件認可セラル

同 八年

十二月二十日 定時株主總會ヲ松山市社友俱樂部ニ於テ開催  
 十二月二十六日 黒川發電所増設工事を終了ス  
 十二月二十七日 小濱發電所及小濱送電線路工事落成工物使用ノ件認可セラル(選信者)  
 一月十四日 院線通手小荷物運賃及料金規程中改正ノ件認可申請(内閣)  
 三月五日 大洲送電線路變更工事落成工物使用ノ件認可申請(選信者)  
 三月十六日 履可假事務所ヲ引揚ヒ新築本社ニ移轉セリ  
 三月二十一日 三月五日申請ノ大洲送電線路變更工事落成工物使用ノ件認可(選信者)  
 四月五日 本社及松山停車場本屋工事落成セルヲ以テ五、六ノ兩日上樓式ヲ舉行セリ  
 五月十三日 柳谷村大字水野ニ於テ第二黒川發電所起工式ヲ舉行ス  
 六月二十日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役八名監査役五名選擧及代表取締役選定、南海電氣株式會社ト合併ノ件及之ニ伴フ定款變更ノ件決議  
 八月十四日 一月十四日申請ノ院線通手小荷物運賃及料金規程中改正ノ件認可セラル(内閣)  
 十二月二十日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役八名監査役五名選擧及代表取締役選定、南海電氣株式會社ト合併ノ件及之ニ伴フ定款變更ノ件決議  
 一月七日 南海電氣株式會社ト合併契約ヲ締結ス

同 九年

南海電氣株式會社ト合併契約ヲ締結ス

同 十年

三月四日 南海電氣株式會社ト合併ノ件認可(鐵道院)  
 五月十七日 南海電氣株式會社合併ニ伴フ火力發電所増設ノ件認可(選信者)  
 六月二十一日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 六月三十日 南海電氣株式會社ト合併實行  
 七月十日 面河發電所建設ノ件認可セラル(選信大臣)  
 七月二十六日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、南海電氣株式會社合併ニ關スル事項ヲ報告、定款變更、南海解散慰勞金支出ノ件決議  
 八月二十一日 温泉部與居島村配電工事施行ノ件認可セラル、(選信者)  
 十月二十二日 第二黒川發電所建設工事ニ關スル三井工業合名會社トノ請負契約ヲ中途解除シ種工事務負契約ヲ大分土木株式會社ト締結ス  
 十一月十九日 伊豫郡廣田村落成電氣工物使用ノ件認可セラル(選信者)  
 十二月十三日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、松山電氣軌道株式會社及松山電氣興業株式會社ト合併ノ件並ニ之ニ伴フ定款變更ノ件取締役監査役選擧ノ件ヲ決議  
 十二月十八日 高濱火力發電所工事完成セルヲ以テ其旨選信大臣へ届出、十年二月一日事業ヲ開始ス  
 十二月二十日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 一月二十二日 面河川水利使用ノ件認可セラル(愛媛縣知事)

二月二十三日 高濱火力發電所落成電氣工作物使用ノ件認可セラレタリ

三月十五日 興居島海底電纜布設水面使用ノ件愛媛縣知事ニ於テ認可セラレタリ

四月一日 松山電氣軌道株式會社及松山電氣興業株式會社トノ合併ヲ實行ス

五月二十四日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、松山電氣軌道株式會社及松山電氣興業株式會社合併ニ關スル事項ヲ報告承認、新任役員ニ慰勞金支出ノ件ヲ決議、取締役並ニ監査役増員補缺選舉ノ件

五月二十六日 松山電氣軌道、松山電氣興業ノ兩社合併登記ヲ松山區裁判所ニ申請即日之ヲ了シタリ

五月三十一日 第四湯山發電所電氣工事施行ノ件選信大臣ニ於テ認可セラレタリ

六月二十日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

七月二十五日 松山電氣軌道電氣工事完成シ、八月五日ヨリ事業ヲ開始セリ

九月十五日 松山電氣所落成電氣工作物使用ノ件認可（選信大臣）

十二月二十日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

十二月二十二日 第二黒川發電所落成セルヲ以テ工事落成屆ヲ選信大臣ニ提出ス

十一月十一日 第二黒川發電所事業ヲ開始ス、使用開始屆ハ二月一日附選信大臣へ届出タリ

同 十一年

株式會社合併ニ關スル事項並ニ計算承認ノ件、當社定款修正承認ノ件ヲ決議取締役監査役選舉取締役中社長一名、副社長一名選舉

六月三十日 第三黒川發電所電氣工事施行ノ件選信大臣ニ於テ認可

七月一日 愛媛水力、川上水力合併登記ヲ松山區裁判所ニ申請即日之ヲ了シタリ、今治、西條、大洲ノ三支店設立ノ登記ヲ松山區裁判所ニ申請之ヲ了シタリ、右各支店管轄區域裁判所ニシテキテハ今治ハ七日、西條、大洲ハ八日夫々登記了シタリ

九月十九日 龍ヶ岡發電所設置ノ件、選信大臣ニ於テ認可セラレ

十二月二十五日 定時株主總會ヲ本店ニ於テ開催

同 十二年

四月三十日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、廣見川水力電氣株式會社合併契約書承認並ニ之ニ伴フ定款變更ノ件決議

五月二十一日 第三黒川發電所建設工事ハ三月三十一日落成四月二十日假使用認可ヲ得タルヲ以テ本日運轉ヲ開始セリ

五月十二日 面河發電所電氣工事施行ノ件選信大臣ニ於テ認可ヲ受ケタリ

五月二十三日 松山火力發電所ハ高濱火力設置以來休止中ノ所選信大臣ノ許可アリタルヲ以テ之ヲ撤去シ之ガ撤去屆ヲ選信大臣宛提出セリ

二月十四日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

(一)愛媛水力電氣株式會社ト合併契約書承認ノ件 (二)川上水力電氣株式會社ト合併契約書承認ノ件 (三)定款變更ノ件 (四)資本金六百二十九萬圓増加ニ對スル新株式募集ニ關スル件 (五)愛媛水力電氣株式會社及川上水力電氣株式會社合併ニ伴フ定款變更ノ件 (六)取締役及監査役ノ俸給報酬ニ關スル件 (七)當社代表取締役井上要ニ於テ濶戸内海橋斷電力株式會社取締役認許ノ件ヲ附議承認ヲ得タリ

三月二十八日 第三黒川發電所増設ノ件選信大臣ニ於テ認可セラレ

五月三日 愛媛水力電氣株式會社、川上水力電氣株式會社合併ノ件選信大臣ニ於テ認可

五月八日 愛媛水力電氣株式會社、川上水力電氣株式會社合併ノ件鐵道大臣ニ於テ認可

五月二十五日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、資本金六百二十九萬圓増加ニ伴フ新株式募集ニ關スル事項報告承認ヲ得タリ

五月二十九日 資本金六百二十九萬圓増加、登記ヲ松山區裁判所ニ申請即日之ヲ了シタリ

六月一日 第二純川發電所設置ノ件選信大臣ニ於テ認可、愛媛水力電氣株式會社並ニ川上水力電氣株式會社トノ合併ヲ實行ス

六月二十六日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、愛媛水力電氣

同 十三年

六月二十五日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役監査役各一名選舉ヲ行フ

七月十九日 第三湯山發電所建設工事竣工

八月十五日 七月十九日落成ノ第三湯山發電所ハ七月二十七日假使用認可ヲ得本日ヨリ運轉ヲ開始セリ

九月二十五日 廣見川水力電氣株式會社トノ合併登記ヲ松山區裁判所ニ申請即日之ヲ了シタリ

十月十五日 高濱火力發電所増設工事ハ九月二十七日竣工十月十四日假使用認可ヲ得タルヲ以テ本日ヨリ運轉ヲ開始セリ

十二月二十五日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

同 十三年

二月二十九日 社友會雜誌社友會刊

三月十七日 新設郡中發電所及送電線路建設工事ハ三月三日竣工、同十二日假使用認可ヲ得タルヲ以テ本日ヨリ使用開始シ同時ニ瀬田電所及送電線路ヘ之ヲ廢止セリ

五月九日 三坂屋外發電所ニ於テ久万町電氣部へノ供給ヲ開始ス

六月二十五日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役監査役選舉

八月十八日 藏敷火力發電所廢止ノ件選信大臣ニ於テ認可、九月七日其設備ヲ撤去セリ 潮今治發電所廢止ノ件選信大臣ニ於テ認可、九月七日其設備ヲ撤去セリ

年表

九月四日 新居濱變電所及送電線路新設工事ハ八月二十七日落成本日使用ヲ開始セリ

九月十日 元川上水力電氣株式會社惠靈變電所廢止ノ件認可セラレタリ

十二月八日 第四湯山發電所設置ノ件認可

十二月二十五日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

同十四年

四月十六日 木屋町一万町間鐵道敷設ノ上運輸營業ヲナスノ件鐵道大臣ニ於テ認可、木屋町道後間營業廢止ノ件鐵道大臣ニ於テ認可

五月四日 城北電車線工事施行ノ件通信大臣ニ於テ認可

六月二十五日 定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役監査役各一名改選

八月二十五日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、宇和水電株式會社ト合併契約書ヲ承認シ之ガ合併實行委員二名選任ノ結果阿部光之助、露口悅次郎當選

十一月九日 長谷、龍岡兩發電所廢止ノ件認可(通信大臣)

十一月三十一日 宇和水電株式會社ト合併、新會社設立ノ爲メ解散ス

伊豫鐵道電氣株式會社

大正十四年

十二月一日 松山市伊豫鐵道電氣株式會社ニ於テ合併創立總會ヲ開催、新會社創立事項報告並ニ定款ノ承認ヲ得、尙役員選舉ノ結果取締役ニ井上要(社長)

三二

阿部光之助(副社長)、太宰孫九(副社長)新野伊三郎、仲田傳之松、岡本榮吉、清水義彰、大本貞太郎、久松定夫、徳木良一、堀田八郎、文野昇二、秋山光五郎、小倉龍太郎ノ十四名、監査役ニ村瀬正敏、藤田寛二郎、卯之木晋一郎、清家俊三、田内榮三郎、八木春樹、森田恭平、浦中友治郎ノ八名當選就任シタリ

合併ニヨル會社設立登記ヲ完了ス

今治、宇和島、西條、大洲、八幡濱各支店ノ設立登記ヲ管轄區域判所ニ於テ完了

第一回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、元伊豫鐵道電氣株式會社並ニ元宇和水電株式會社諸計算書並ニ利益金處分ノ決議ス

同十五年

二月十九日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、社債金參百萬圓募集ノ件決議ス

三月一日 社債三百萬圓募集ノ件鐵道大臣ノ認可ヲ得タリ

三月二十二日 今治火力發電所建設工事全部落成シ之ガ落成ノ件通信大臣ニ届出タリ

四月六日 今治火力發電所落成電氣工作物假使用ノ件認可ヲ得タリ

五月二日 一番町道後間電車線工事四月三十日竣工認可ヲ得タルヲ以テ本日ヨリ運輸ヲ開始セリ、同時ニ同區間鐵道營業廢止ノ件届出テタリ

五月十八日 津ノ川發電所(元宇和水電計畫)廢止ノ件認可

六月一日 四國水電株式會社ヨリ受電ノ件通信大臣ノ認可ヲ得タリ

六月二十五日 第一回社債金參百萬圓ハ予テ株式會社本ビルプロカー銀行ノ引受タル所ナルガ本日、號証債券ヲ發行シ其ノ交付ヲナシタリ

十月二十五日 第二回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催ス

十二月四日 船渡發電所落成十八日假使用ノ認可ヲ得タルヲ以テ使用ヲ開始ス

十二月四日 川之石變電所及同送電線使用認可アリ直ニ使用ヲ開始セリ

十二月十二日 中村發電所ニ於ケル四國水電株式會社ヨリノ受電設備ハ十二月四日使用認可アリタルヲ以テ本日ヨリ受電ヲ開始ス

十二月十一日 御内、鮎返、廣見川、宇和島ノ各發電所事業休止ノ件通信大臣ニ届出タリ

十二月十七日 船渡發電所落成電氣工作物假使用ノ件通信大臣ノ認可アリタリ

十二月二十二日 鴨川發電所休止ノ件通信大臣ニ届出タリ

十二月二十五日 第三回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

昭和二年

一月十八日 高嶺松山間鐵道電化ノ件鐵道大臣ノ認可ヲ得タリ

一月二十二日 女學校西停車場設置ノ件鐵道大臣ノ認可ヲ得タリ

一月二十四日 古町鐵道松山間鐵道敷設ノ件並ニ同上工事施行

一月二十五日

行ノ件鐵道大臣ノ認可ヲ得タリ

臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、周泰電氣株式會社ト本會社ノ電氣事業譲渡ニ關スル契約書ノ承認ノ件、周泰電氣株式會社電氣事業買収ニ關スル契約ノ履行官廳手續並ニ役員ニ對スル慰勞金支出其他一切ノ件ヲ取締役ニ一任スル件、定款變更ノ件ヲ附議承認ヲ得タリ

當會社目的ノ内水ノ製造販賣及物品冷蔵事業經營開始登記ヲ松山區域判所ヘ申請即日之ヲ了シタリ、各支店管轄區域區域判所ヘモ同様手續ヲ了レリ

三月四日 高嶺松山間鐵道電化ノ件通信大臣ノ認可ヲ得タリ

四月三日 城北線木屋町一万間及通絡線古町鐵道松山間建設工事竣工運輸ヲ開始セリ

四月十日 全國營業博覽會開催セラル

四月十五日 古町線木屋町道後間ハ營業ヲ廢止セリ

五月二十日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、鐵道電氣株式會社合併ノ件並ニ之ニ伴フ定款變更ノ件ヲ決議

六月二十五日 第四回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

七月二十日 運送及運送取扱營業ノ件鐵道大臣ノ認可ヲ得タリ

七月三十日 運送及運送取扱營業ニヨル目的變更登記ヲ松山區域判所ニ申請

九月三十日 鐵道電氣株式會社合併ノ件認可ヲ受ケタリ

三三

十月十三日 八幡濱支店新築工事落成移轉ス  
 十一月五日 御莊電所並ニ同送電線工事落成送電ヲ開始セリ、清瀬、檜川、曾根電所ハ本日限り休止セリ  
 十二月二十四日 第五回定時株主總會ヲ本店ニ於テ開催、小田水力電氣株式會社ト合併契約書承認定款變更ノ件ヲ附議其ノ承認ヲ得タリ、監査役改選ノ結果村瀬正敬、森田寛二郎、清家俊三、田内榮三郎、森田若平、浦中友治郎ノ六名當選セリ  
 同 三年  
 二月二十七日 電燈供給規程改正ノ件通信大臣ニ届出デタリ  
 三月十二日 面河發電所、丹原變電所及丹原、第二今治、西條、面河各送電線工事完成ス  
 三月二十日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、第二回社債總額五百萬圓募集ノ件、定款變更ノ件ヲ附議シ何レモ原案可決セリ  
 四月一日 面河發電所、丹原變電所及丹原、第二今治、西條、面河各送電線ハ三月廿四日ヨリ検査官ノ検査ヲ受ケ假使用認可ヲ得タルヲ以テテソノ使用ヲ開始セリ三津屋變電所、丹原變電所ノ落成ニヨリ廢止セリ  
 五月一日 面河發電所落成記念トシテ電燈料値下ヲ實施セリ  
 六月一日 總洋電氣株式會社並ニ小田水力電氣株式會社當社ト合併ヲ實行セリ

六月四日 第二回社債金五百萬圓ノ登記並ニ第一回社債金參百萬圓償還登記ヲ松山區裁判所ニ申請即日各之ヲ了シタリ  
 六月二十五日 第六回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、總洋電氣株式會社小田水力電氣株式會社合併事項ノ報告ヲナシ之ガ承認ヲ得タリ、監査役改選ノ結果千賀千太郎、近藤爲義當選セリ  
 六月二十七日 家庭電氣供給規程改正ノ件通信大臣ニ届出タリ  
 九月一日 梅津寺海面埋立工事完成ノ件愛媛縣知事ニ届出タリ  
 十二月二十四日 第七回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役改選ノ結果井上要、阿部光之助、太宰孫九、新野伊三郎、仲田傳之助、清水義彰、大本貞太郎、久松定夫、徳本良一、堀田八郎、文野昇二、秋山光五郎、小倉福太郎ノ拾參名當選、社長ニ井上要當選就任セリ  
 十二月二十八日 高濱線電氣鐵道開始開通申長ノ件認可セララル(通信大臣)  
 同 四年  
 一月二十日 土佐吉野川水力電氣株式會社(電力供給ノ爲メ施行中ナリ)新設變電所變更工事落成シ之ガ使用ヲ開始セリ  
 三月二十一日 宇和島支店新築工事落成上様式ヲ舉行ス  
 四月十日 壹町停留所ヨリ古町驛引込線落成セル爲メ市内城南線電車ハ古町驛通過國鐵松山驛迄直通運轉

同 五年

四月十一日 ヲ開始ス  
 四月二十五日 旅客運賃變更實施ノ件鐵道大臣ニ届出  
 六月二十五日 第八回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 九月三日 高知縣藤原村電氣(電力供給並ニ野村送電線變更ノ件認可(通信大臣))  
 九月十三日 四國水電株式會社(電力供給並ニ送電線路施設ノ件認可)  
 十月七日 第二面河發電所施設ノ件認可  
 十月二十五日 第三黒川發電所自働裝置ニ變更ノ件認可  
 十一月二十五日 第三黒川發電所自働裝置變更工事落成ノ件通信大臣ニ届出タリ  
 十二月二十四日 第九回定時株主總會ヲ開催、監査役改選ノ結果村瀬正敬、森田寛二郎、清家俊三、森田若平、浦中友治郎、千賀千太郎、近藤爲義當選セリ  
 同 五年  
 一月二十四日 藤原川第三發電所出力受電ノ件認可ヲ得タリ  
 二月三日 旅客及荷物運送規程改正ノ件鐵道大臣ニ届出タリ  
 二月四日 南海水力電氣株式會社(電力供給ノ件認可)アリ  
 二月二十一日 松葉川送電線路落成電氣工作物使用認可アリ、仍テ四國水電株式會社(電力供給)開始ス  
 三月六日 郡中線松山市余戸間ニ新設セル土居田停車場營業開始ノ旨鐵道大臣ニ届出タリ  
 六月二十五日 第十回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

同 六年

九月十七日 宇和島發電所廢止ノ件通信大臣ノ許可アリタリ  
 十一月一日 貧困者電燈無料ヲ實施ス  
 十一月七日 船渡發電所自働裝置工事落成電氣工作物使用ノ件認可ヲ得タリ  
 十二月二十一日 住友信託株式會社借入金貳百萬圓也返済ス  
 十二月二十四日 第十一回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 同 六年  
 一月一日 高濱商運株式會社事業一部繼承營業ヲ開始ス  
 一月三十日 第二黒川發電所消磁機檢査工事落成電氣工作物使用ノ件認可ヲ得タリ  
 三月三日 樽原塚停留場廢止ノ件鐵道大臣ノ認可アリタリ  
 三月十一日 自動車ニ依ル貨物運送營業ノ件愛媛縣知事ノ認可ヲ得タリ  
 四月十四日 高濱線電車復線工事實施ノ件鐵道大臣ノ認可ヲ得タリ  
 五月一日 高濱松山市間電化工事落成本日ヨリ電車運轉ヲ開始セリ、朝美變電所、石井變電所及朝美送電線路落成使用ヲ開始ス  
 五月三十一日 取締役堀田八郎、秋山光五郎、監査役森田寛二郎、浦中友治郎ノ四名ハ何レモ一身上ノ都合ヲ以テ辭任セリ  
 六月二十五日 第十二回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 七月八日 高濱線電化復線工事竣功シ通信、鐵道省ノ認可ヲ得テ運轉ヲ開始セリ  
 十月六日 横河原線軌間擴張工事竣功運轉ヲ開始セリ

十月十二日 森松線軌間擴張工事竣工運轉開始ス  
 十二月二十四日 第十三回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、役員改選ノ結果取締役ニ井上要、阿部光之助、太宰孫九、新野伊三郎、仲出傳之助、大本貞太郎、久松定夫、徳本良一、小倉福太郎ノ九名、監査役ニハ村瀬正敬、清家俊三、近藤爲義ノ三名、代表取締役ニ井上要當選就任セリ

同 七年  
 二月二十二日 第四湯山發電所建設取止メノ件通信大臣ノ認可アリタリ  
 五月二十日 四國電力統制ニヨル電力受給及送電線路新設ノ件通信大臣ノ認可ヲ得タリ  
 六月二十五日 第十四回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、面河發電所ニ於テ弘形電氣株式會社へ電力供給ノ件認可  
 十一月十六日 第十五回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役三名、監査役三名補缺選舉ヲ行ヒタル結果、取締役ニハ近藤竹次郎、武智勝、阿部秀太郎ノ三名、監査役ニハ露口悦次郎、黒川雄之進、山中義貞ノ三名當選

同 八年  
 三月一日 電氣事業會計規程ノ實施ニ伴ヒ資本金債ニ屬スル勘定科目ノ變更及組替ヲ行ヒタリ  
 五月十六日 中村發電所瓦斯力設備取止ノ上發電所トシテ使用ノ件認可アリタリ

六月一日 電氣事業會計規程ニ準ジ損益勘定科目ノ變更ヲ施ス  
 六月二十四日 第十六回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、定款變更ノ件決議、井上要社長並ニ取締役辭任ニ付補缺選舉ノ結果社長ニ太宰孫九當選取締役ニ井上要當選ス  
 九月二十日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、第一回物上擔保付社債募集ノ件ヲ附議シ之ガ承認ヲ得タリ  
 十一月十五日 第一回物上擔保付社債金五百萬圓ヲ發行ス引受ハ住友信託株式會社並ニ株式會社住友銀行ナリ  
 十一月十七日 第二回社債金五百萬圓ハ期日繰上償還ヲナシタリ  
 十二月二十三日 第十七回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、定款變更ノ件ヲ附議承認ヲ得タリ、監査役改選ヲ行ヒタル結果露口悦次郎、村瀬正敬、清家俊三、黒川雄之進、山中義貞、佐々木長治當選就任ス

同 九年  
 二月二十二日 三島發電所新設ノ件通信大臣ノ認可アリタリ  
 四月一日 工費、計器損料、電球取替料其他材料金ノ低減ヲ實施ス  
 四月五日 今治火力發電所二、〇〇〇キロ増設工事着手ノ件届出(通信大臣)  
 六月四日 西福端停留場ヨリ岡松山線前ニ於ル軌道特許ノ件通信大臣並ニ内務大臣ノ認可アリタリ  
 六月八日 三島發電所落成シ使用認可アリタリ

六月二十五日 第十八回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 七月二十一日 西條海岸送電線路、同變電所事業開始ノ件届出(通信大臣)  
 九月三十日 湯水ニヨル電氣料金割引ノ件通信大臣ニ届出タリ  
 十一月二十一日 六月四日附特許セラレタル軌道大手町線敷設工事實施ノ件認可ヲ申請ス  
 十二月四日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催シ、電氣事業經營許可期間昭和十年六月六日ヲ以テ滿了ニ付向フ貳拾五ヶ年間期間伸長ヲ通信省ニ申請ノ件ヲ附議シ之ガ承認ヲ得タリ  
 十二月二十四日 第十九回定時株主總會ヲ本店ニ於テ開催、取締役全員任期滿了ニ付選舉ヲ行ヒタル結果何レモ再選重任セリ、代表取締役選舉ノ結果太宰孫九當選  
 十二月三十一日 今治火力發電所増設工事落成電氣工作物假使用ノ件通信大臣ニ於テ認可アリタルヲ以テ直チニ運轉ヲ開始セリ

同 十年  
 四月一日 新居濱變電所改築移轉ノ件許可アリタリ  
 四月十五日 四國中央電力株式會社ト新居濱變電所ニ於テ電力五、〇〇〇キロワット融通ノ件關係工作物假使用認可ヲ得タリ、新居濱變電所擴張工事落成シ使用ヲ開始セリ  
 六月二十五日 第二十回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

七月九日 藤原水力電氣會社ヨリ委託工事中ノ藤原川第二發電所出力全部受電ノタメ中平送電線新設許可ヲ申請ス  
 八月二日 野村發電所電壓調整器ヲ容量一〇、〇〇〇KV Aニ増加、使用ヲ開始ス  
 八月六日 第三面河發電所水利使用認可ヲ得タリ  
 八月十五日 宇和島變電所新設及宇和島送電線改修其他關係送電線變更工事ハ何レモ落成シ之ガ使用ヲ開始セリ  
 八月三十日 西條海岸送電線並ニ西條海岸變電所ヲ廢止ス  
 十月二十二日 明正レイヨン壬生川工場送電ノタメ新設ノ壬生川人絹線(三三三、〇〇〇V専用配電線)工事落成シ假使用認可ヲ得タリ  
 十一月六日 壬生川假送電線並ニ壬生川假變所廢止ス  
 十一月十七日 藤原送電線路改修工事落成使用ヲ開始ス  
 十二月二日 新株式第三回株金拂込(一株ニ付キ五圓)徴收ヲナス  
 十二月二十四日 定時株主總會ヲ本店ニ於テ開催、監査役露口悦次郎、村瀬正敬、清家俊三、黒川雄之進、山中義貞、佐々木長治任期滿了ニ付選舉ヲ行ヒタル結果何レモ再選重任セリ、定款變更ノ件及本會社ト高知縣知事トノ間ニ締結シタル電氣事業一部譲渡ニ關スル假契約書ノ承認並ニ之ガ履行及官廳手續其他必要ナル一切ノ事項ヲ取締役ニ一任スル件並ニ高知縣ノ經營スル電氣事業供給區

城中愛媛縣ニ跨ル部分ヲ本會社ニ買戻シ又ハ讓受タル權限並ニ其ノ契約ノ締結、履行及官廳手續其他必要ナル一切ノ事項ヲ取締役ニ一任スル件ヲ付議シ原案通り可決セリ

同 十一年  
一月二十九日 第三面河發電所新設及關係送電線路變更ノ件認可ヲ受テ

一月三十日 軌道大手町線工事施行ノ件、軌道線西端端、裁判所前間複線工事施行ノ件許可サル

### 道後鐵道株式會社

明治 二十五年  
十一月十六日 松山道後古町間輕便鐵道布設請願書ヲ逕信大臣宛提出、廿六年四月八日認可、假免狀下附

同 二十六年  
九月十四日 道後湯ノ町船田市藏方ニテ創業總會ヲ開キ定款ヲ議定シ、左ノ役員當選、取締役村瀬正敬、長井元之、泉丈三郎、監査役松下信光、竹田博文、岡市郎、相談役正岡春齡、鈴木安藏、遠藤康守、山内百太郎、伊佐庭如矢

九月廿六日 本免狀下附請願書ヲ逕信大臣宛提出、廿七年一月二十四日下附

同 二十七年  
四月二十二日 松山市公會堂ニ於テ臨時株主總會ヲ開キ、定款

二月二十一日 前年十二月二十四日株主總會決議ニヨル高知縣へ中村出張所管内電氣事業讓渡ノ件双方通書ノ上其ノ認可申請ヲナシタリ

二月二十六日 第三面河發電所土木工事施行ノ件認可ヲ得タリ(土木工事着手ノ件三月二十八日届出ス)

三月三十日 古町、松山間前間軌道特許ノ件及同工事施行ノ件並古町、松山間前間軌道廢止ノ件認可ヲ受テ

五月一日 軌道大手町線外運轉開始ノ件届出ヲナセリ

### 同 二十八年

六月二十九日 道後湯ノ町風鉢館ニテ臨時株主總會ヲ開キ左記役員改選取締役員井元之、玉井藤六、監査役竹田博文、岡市郎辭任取締役員鈴木安藏、船田市藏、監査役栗田幸次郎、清水金三郎當選

十月十四日 道後湯ノ町實藏寺ニ臨時株主總會ヲ開キ建設費豫算超過ノ件ニ付株主ノ承認ヲ得、併セテ超過金額分法ヲ議定シ、役員ノ任期滿期ニ付總改選左ノ通り當選、取締役員村瀬正敬、松下信光、船田市藏、監査役清水金三郎、栗田幸次郎、木村

同 二十八年  
十一月十四日 直四郎、相談役伊佐庭如矢、泉丈三郎、重川渡八東喜藏

十一月二十六日 社債發行額、廿八年三月廿七日認可

十二月十九日 電話線架設願、十二月十九日認可

同 二十九年  
六月十七日 廿七年七月二十日着手ノ線路及停車場建築工事竣工

七月二十三日 逕信省鐵道局技師工藤謙氏全線路各線鐵道検査開業免狀下附

八月二十日 運轉營業開始

同 二十九年  
一月二十二日 資本金三萬八千圓ヲ六萬圓ニ增加決議

四月二十一日 清水口停車場ヲ廢シ木尾町へ移轉決議

七月六日 松山市公會堂ニ株主協議會ヲ開キ伊豫鐵道株式會社トノ合併ヲ協議シタルモ出席者少數ノ爲メ延期シ七月廿三日再會シタルモ議案撤回決議

十一月一日 古畑寅造社長ニ當選就任

十月十五日 大阪市東區瓦町三丁目明教保險株式會社大阪支社内へ出張所設置、株券名譽登記ノ取扱開始

同 三十三年  
一月二十五日 道後風鉢館ニ於テ臨時株主總會ヲ開キ伊豫鐵道南豫鐵道、道後鐵道ノ三會社合併ノ可否方法等現役員ニ一任決定

二月二十五日 大阪市平野町辨別樓ニ於テ臨時株主總會ヲ開キ當社所屬ノ財産ヲ伊豫鐵道株式會社へ賣却シ四年

### 南豫鐵道株式會社

明治 二十七年  
一月二十四日 藤原、郡中間鐵道敷設免許、假事務所ヲ郡中町大字津町五拾貳番戶ニ設テ

三月十四日 第一回株金拂込登記ヲ松山區裁判所郡中出張所ニ申請ス

四月十六日 工事着手届出

十二月一日 事務所ヲ郡中停車場内新築家屋ニ移轉ス

同 二十八年  
一月二十日 定時株主總會ヲ郡中町彩濱館ニ於テ開催、取締役員、監査役及商議員選舉ヲ行フ臨時株主總會ヲ開催、資本金増加、線路延長ノ件ヲ議決セリ

一月三十日 取締役員ニテ互選ノ結果、事務取締役ニ宮内治三郎當選セリ、定款變更ノ件届出ス

七月二十五日 定時株主總會ヲ郡中町彩濱館ニ於テ開催、臨時株主總會ヲ開催、監査役辻吉教辭任ノ補欠選舉

八月十七日 結果前川通當選、定款變更ノ件ヲ附議シタ  
レドモ定員ニ不滿意決議トス  
臨時株主總會開催、前會假決議ニ係ル定款變更  
ノ件決議  
十月二十五日 取締役ニ福本元之助、辻吉敏就任セリ  
十二月五日 臨時株主總會開催、本鐵道ヲ八幡濱延長ノ件決  
議  
十二月十九日 取締役社長福本元之助辭任セリ

同 二十九年

一月二十一日 社債券發行ノ件申請  
一月三十一日 臨時株主總會ヲ開催、取締役、監査役、商議員  
滿期改選  
二月十五日 一月二十一日申請社債券發行ノ件認可アリタリ  
三月二日 八幡濱線鐵道延長假免狀下附ヲ出願ス  
四月十八日 郡中、藤原間鐵道工事全部竣功ニツキ開業免狀  
下附ヲ出願ス  
四月二十八日 臨時株主總會開催、義ニ募集セル社債金三萬圓  
ニテハ尙不足ナルヲ以テ更ニ壹萬圓増募ノ件決  
議、取締役補欠選舉  
六月二十五日 臨時株主總會開催、社債償却ノ爲メ増資ノ件並  
大阪出張所設置ノ件ヲ附議、後段ハ異議ナク可  
決、増資ノ件ハ出席株主數規定ニ欠クヲ以テ假  
決議トス  
六月二十九日 郡中、藤原間鐵道開業免狀下附サル  
七月四日 鐵道運輸開業

七月七日 臨時株主總會開催、前會假決議ノ資本金増加及  
之ニ關スル定款變更ノ件決議  
七月三十日 臨時株主總會開催、臨時株主總會開催、資本  
金四萬五千圓増加及之ニ關スル定款變更ノ件ハ  
株主出席人員規定數ニ充タザルタメ假決議トス  
八月十三日 臨時株主總會開催、前會ニ於テ假決議ヲナセ  
ル資本金四萬五千圓増加及之ニ關スル定款變更  
ノ件決議

同 三十年

一月十五日 臨時株主總會ヲ郡中町彩濱館ニ於テ開催、臨時  
株主總會ヲ開催、取締役、監査役、商議員改選  
役員數増加ニ關スル定款變更ノ件ヲ附議シタレ  
ドモ出席株主定數ニ滿タズ假決議トス  
二月五日 臨時株主總會ヲ開催、前會假決議ノ定款變更ノ  
件ヲ決議  
三月二十五日 昨年三月二日附出願ニ係ル八幡濱線延長假免  
狀下附セラル  
五月十六日 開業一周年祝賀會ヲ十六、十七ノ兩日ニ互リ舉  
行ス  
七月十五日 臨時株主總會ヲ郡中町彩濱館ニ於テ舉行、臨時  
株主總會ヲ開催、新株募集方法ノ件決議

同 三十一年

一月二十五日 臨時株主總會ヲ郡中町彩濱館ニ於テ開催、臨時  
株主總會開催、取締役、監査役、相談役改選ヲ  
行フ

同 三十二年

二月八日 取締役互選ヲ以テ古畑寅造ヲ社長ニ、宮内治三  
部ヲ專務取締役トス  
六月十五日 臨時株主總會ヲ開催、増資株ハ之ガ募集ヲ中止  
シ社債三萬四千圓代募ノ件ヲ決議鐵道延長事業  
ノ報告ヲナス  
六月二十日 六月十五日臨時總會ニ於テ決議ノ社債券發行認可  
ヲ申請ス  
七月二十日 臨時株主總會ヲ郡中町彩濱館ニ於テ開催、監査  
役一名補欠選舉  
十月二十日 臨時株主總會ヲ大阪市東區北濱邊町本會社大阪  
出張所ニ於テ開催、社債利率年壹割トアルヲ年  
壹割貳歩ニ改正ノ件決議

同 三十二年

一月二十七日 臨時株主總會ヲ大阪市北區中ノ島大阪ホテルニ  
於テ開催、臨時株主總會ヲ開催、取締役、監査  
役、相談役改選  
二月三日 取締役互選ニテ古畑寅造ヲ社長ニ戸井英昭ヲ專  
務取締役トス  
五月二十一日 臨時株主總會ヲ大阪市ノ島大阪ホテルニ於テ  
開催、増資金四萬五千圓ヲ一時募集シ社債償還  
ノ件決議、取締役、監査役補欠選舉  
五月二十四日 八幡濱線延長假免狀ノ期間延長ノ件出願  
七月十三日 五月二十四日出願ノ八幡濱線延長假免狀期間延  
長ノ件不許可トナル  
七月十五日 臨時株主總會ヲ大阪市ノ島大阪ホテルニ於テ

同 三十四年

一月二十一日 臨時株主總會ヲ大阪市平野町辨別樓ニ於テ開催  
臨時株主總會ヲ開催、取締役、監査役、相談役  
改選ノ結果全部再選伊豫、道後、南豫ノ三鐵道  
合同ノ爲メ調査委員ヲ置キ現任重役ニ之ヲ一任  
ノ事ヲ決議  
二月二十五日 臨時株主總會ヲ大阪市平野町辨別樓ニ於テ開催  
當會社財產一切ヲ伊豫鐵道株式會社ニ賣却ノ件  
ヲ決議、解散後ノ清算人推選ノ結果、古畑寅造  
戸井英昭、松下信光當選ス  
四月三十日 當會社ヲ伊豫鐵道株式會社ヘ賣却ニ因リ解散ス

明治三十四年

十二月一日 創立總會ヲ松山公會堂ニ於テ開催、創立ニ關ス  
ル諸般ノ報告、創立費認定、定款ノ議定ヲナス  
役員選舉ノ結果取締役ニ仲田傳之松、小林信近  
栗田幸次郎、仲田健三郎、津守虎太郎、監査役  
ニ世良藤藏、才實藤吉、桐原恒三郎當選就任、  
取締役互選ノ結果仲田傳之松社長ニ、小林信近  
專務取締役ニ當選セリ  
十二月十三日 會社設立登記ヲ了ス

同 三十五年

伊豫水力電気株式會社

四月五日 本社新築工事竣工  
 四月八日 本社新築落成式ヲ舉行ス  
 四月二十五日 本社事業ニ要スル諸機械、器具、及ソノ設計建築工事全部ヲ京都市才賀藤吉氏ニ囑托シ其契約ヲ締結シタリ  
 四月二十七日 湯山發電所工事ニ着手  
 七月二十日 臨時株主總會ヲ松山公會堂ニ於テ開催  
 十一月七日 松山市及三津濱町へ試験燈ヲナス  
 十一月十日 湯山發電所及送配電工事竣工  
 十二月三十一日 期末電燈數三千八百五個、電動力九馬力  
 同 三十六年  
 一月十七日 松山市及三津濱町全線電氣工作物使用認可セラル  
 一月二十四日 事業開始後ヲ選信大臣ニ届出  
 一月二十五日 臨時株主總會ヲ松山市市會堂ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催、定款改正ノ件ヲ議定、増資取締役選舉並ニ監査役滿期改選ノ結果取締役ニ才賀藤吉、佐方甲輔、監査役ニ世良藤藏、關原恒三郎、岸本傳吉當選セリ  
 七月十五日 臨時株主總會並ニ臨時株主總會ヲ松山公會堂ニ於テ開催、社債金七萬圓募集決議ス  
 七月二十三日 暴風雨ノ爲メ電線路ニ故障ヲ生ジ翌日復舊セリ  
 八月十八日 點燈數五千個ニ達ス  
 同 三十七年  
 一月十七日 第四回臨時株主總會ヲ松山公會堂ニ於テ開催、

七月十二日 監査役選舉ノ結果世良藤藏、關原恒三郎、岸本傳吉、當選セリ  
 七月十六日 暴風雨ノ爲メ改修工事中ノ湯山發電所水路崩壊シ之レガ復舊ニ十數日ヲ費セリ  
 同 三十八年  
 七月十六日 第五回臨時株主總會ヲ藤原藥師寺ニ於テ開催  
 一月十七日 第六回臨時株主總會ヲ道後村大字持田黒住教會所ニ於テ開催、取締役、監査役ヲ改選ノ結果何レモ重任セリ  
 七月十五日 第七回臨時株主總會ヲ道後村大字持田黒住教會所ニ於テ開催  
 十一月二十日 社債ノ登記ヲ松山區裁判所ニ申請セリ  
 十二月四日 越智郡今治町ニ火力發電所設置ノ件ヲ出願ス  
 同 三十九年  
 一月十七日 第八回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役一名及監査役全員改選ノ結果何レモ重任、引續キ臨時株主總會ヲ開催、定款第一條變更及事業擴張増資案可決セリ  
 四月三十日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、電氣鐵道敷設ノ件及伊豫鐵道株式會社道後線譲受ノ件決議  
 六月三十日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、増資第一回拂込額ニ付其承諾ヲ受タケリ  
 七月十六日 第九回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 同 四十年  
 一月十七日 第十回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、

四月二十日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、上浮穴郡而河川水利使用權譲受ノ件並ニ資本金額九拾萬圓増加シテ總額百貳拾萬圓トスルノ件ヲ決議  
 六月二十六日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、前會議決ノ事業擴張四千馬力ヲ更ニ壹萬馬力ニ擴張ノ目的ヲ以テ前會ノ増資九拾萬圓ヲ取消シ更ニ百七拾萬圓ヲ増加シ總額貳百萬圓トスルノ件及定款變更ノ件ヲ決議  
 七月十七日 第十一回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、本社事務所ヲ松山市榎町八番地ニ移轉ス  
 同 四十一年  
 一月十七日 第十二回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催シ定款變更案ヲ可決セリ  
 四月七日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、久万山發電所設計及増資額變更及株式募集方法中變更案ヲ可決  
 五月一日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、株式拂込額了報告、取締役補選延期及前社長へ贈品ノ件ヲ決議  
 七月十七日 第十三回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、藤原火力發電所落成ヲ選信大臣ニ届出  
 十月十日 郡中送電線發電開始セリ  
 同 四十二年  
 十月二十七日 第十四回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、監査役任期満了、改選ノ結果何レモ重任

五月二十八日 點燈數一萬個ニ達ス  
 七月十七日 第十五回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催、前會議決シタル而河川ニ水力發電所設置ノ計劃ヲシ柳谷村黒川ニ設置ノ件ヲ可決セリ  
 十二月二十八日 黒川發電所設置ノ件ヲ選信大臣ニ出願  
 同 四十三年  
 一月十七日 第十六回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、監査役任期満了改選ノ結果世良藤藏、相生豐太郎、藤本良一當選就任セリ  
 三月四日 明治四十二年十二月二十八日附出原水力發電所ヲ黒川ニ設置ノ件選信大臣ニ於テ認可セラレタリ  
 四月三十日 社債金七萬圓償還  
 六月三日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、伊豫鐵道株式會社ニ於テ電車運轉ヲ開始スルニ當リ黒川發電所落成迄臨時發電所ヲ増設シ吸入瓦斯發動機ヲ運轉送電スルノ件決議  
 六月八日 黒川發電所起工式ヲ舉行ス  
 七月十七日 第十七回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、引續キ臨時株主總會ヲ開催、黒川發電所増設設計變更ノ件決議  
 同 四十四年  
 一月十七日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、定款變更ノ件決議、引續キ第十八回臨時株主總會ヲ開催、取

同 四十二年  
 一月十七日 第十四回臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、監査役任期満了、改選ノ結果何レモ重任

同 四十四年  
 一月十七日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、定款變更ノ件決議、引續キ第十八回臨時株主總會ヲ開催、取



七月十七日 第二十九回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 七月二十九日 黒川發電所工事落成  
 八月五日 黒川發電所開始  
 八月十五日 暴風雨ノ爲メ黒川發電所浸水、倉宅崩壊其他ニ多大ノ損害ヲ受ケ送電停止スルコト十七日、九月一日ニ至リ、送電開始セリ

同 四十五年  
 一月十七日 第二十四回定時株主總會及臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、監査役改選ノ結果何レモ重任セリ、次テ定款變更案(監査役任期延長ノ件)ヲ決議ス  
 七月十七日 第二十一回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 大正元年  
 十月二十一日 大洲延長線建設送電ヲ開始セリ  
 同 二年  
 一月二十七日 第二十二回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、延會トナル、臨時株主總會ヲ引續キ開催、波止濱線開通以東ノ工事ハ供給權ト共ニ之ヲ愛媛電力電氣株式會社ヘ譲渡ノ件決議ス  
 二月十六日 第二十二回定時株主總會延會トナル  
 五月十日 第二十二回定時株主總會延會トナル  
 六月十日 高岡線建設  
 七月一日 高岡線送電ヲ開始ス

七月三十一日 第二十二回定時株主總會開催延期トナル  
 九月 第二十三回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、大正元年下半年、二年上半年間ノ事業報告並ニ諸決算報告、整理案承認、引續キ臨時總會ヲ開催、取締役才賀藤吉、小林信近、金子義治、清水隆徳、監査役世良藤藏辭任、補缺選舉ノ結果、取締役ニ井上要、天春又三郎、仲田傳之松、新野伊三郎、清水義彰、監査役ニ森村金造、岡本榮吉、抽出一ヲ選任、借入金ノ件決議ス  
 九月一日 上浮穴郡久万町及養生村ヲ久万電氣株式會社發起人(區域權讓渡認可申請ヲ選任者)提出セリ  
 九月三日 才賀藤吉氏ノ債務ハ日本興業株式會社ヨリ金壹萬圓ハ手形、金五萬圓ハ社債、金拾三萬五千七百五拾圓ハ株式ヲ受取り決済セリ  
 十二月十七日 黒川水利使用認可ヲ愛媛縣知事ニ出願

同 三年  
 一月十七日 第二十四回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、取締役、監査役全員改選ノ結果孰レモ重任ス  
 同 四年  
 七月十七日 第二十五回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 一月十七日 第二十六回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 三月二十六日 久万電氣株式會社ニ區域權ヲ讓渡セル上浮穴郡久万町並ニ養生村ニ對スル供給區域劃分ノ件許可アリタリ  
 七月十七日 第二十七回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催

八月七日 上浮穴郡養生村ニ於ケル久万電氣株式會社久万發電所ヘ電力供給ノタメ供給區域ニ編入許可申請ヲナス

同 五年  
 一月十七日 第二十八回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、監査役改選セシメ孰レモ重任シ新ニ藤田寛二郎就任セリ  
 七月十七日 第二十九回定時株主總會ヲ本社ニ於テ開催  
 九月十八日 臨時株主總會ヲ本社ニ於テ開催、伊豫鐵道株式會社ト合併ノ件決議  
 九月二十一日 伊豫鐵道株式會社ニ合併認可申請(内閣及選任省)  
 十月二日 九月二十一日申請合併ノ件認可(内閣)  
 十一月二十九日 九月二十一日申請合併ノ件認可(選任省)  
 十二月三十一日 伊豫鐵道株式會社引繼ヲ了ス

同 六年  
 一月二十六日 伊豫鐵道株式會社ニ合併、解散ノ登記ヲ松山區裁判所ニ申請之ヲ了シタリ

松山電氣軌道株式會社

明治四十年  
 三月三十一日 松山市出湯町妙清寺ニ於テ株主總會開催、役員選舉  
 四月十八日 松山電氣鐵道株式會社設立登記申請  
 七月三十一日 第一回株主總會ヲ一番町會社内ニ於テ開催、取

九月十八日 補役、監査役ノ給料決定ノ件、社名變更ノ件會社名變更登記申請  
 八月二十八日 軌道工事施行願ヲ出願(愛媛縣)  
 九月十六日 電氣工事施行願ヲ出願(選任省)  
 十月十五日 二車連結願ヲ出願(内務省)  
 十月十五日 私設電話架設願ヲ出願(選任省)  
 十月十六日 二車連結許可

同 四十一年  
 一月十五日 第二回株主總會開催  
 三月二十日 臨時株主總會開催、定款變更監査役改選  
 二月十八日 軌道工事施行願認可  
 七月二十五日 第三回株主總會開催、休會  
 八月十日 定時臨時株主總會開催  
 八月二十八日 臨時株主總會開催、取締役監査役選舉  
 八月十三日 軌道工事着手利提出(愛媛縣)  
 八月三十一日 社員組織改革

同 四十二年  
 一月三十一日 第四回株主總會開催、休會  
 四月二十四日 第四回株主總會開催  
 七月二十八日 第五回株主總會及臨時株主總會開催  
 八月二十日 臨時株主總會開催、監査役選舉  
 九月三十日 臨時株主總會開催、液會  
 十一月十九日 大株主協議會開催  
 十二月九日 大阪市ニ於テ重役會開催、渡邊取締役ヲ社長ニ

四十四年

十二月十八日 社長就任届出(愛媛縣)

一月七日 臨時株主總會開催、役員増員及選舉

一月十一日 北條線電氣軌道起業願ヲ出願(内務省)

五月二十五日 松山城外濠埋立願提出(陸軍省)

五月二十四日 明治四十年提出シタル開業願中動力供給ノ件許可(逕信大臣)

七月三十一日 第七回定時株主總會開催、取締役選舉

十月二十一日 臨時株主總會開催、資本金三十一萬圓ニ優先株四十九萬圓ヲ增加ノ件

十二月二十八日 臨時株主總會開催、舊株式減資及資本金八十萬圓ヲ六拾萬圓ニ減少

同 四十四年

一月九日 臨時株主總會開催

一月四日 定款變更出願(逕信省)

一月三十一日 第八回定時株主總會開催

三月一日 臨時株主總會開催、流會

三月二十七日 臨時株主總會開催、定款改正優先株募集

四月二十二日 松山城外濠埋立許可

四月五日 定款變更出願提出(逕信大臣)

五月八日 同上許可

四月二十日 電力營業變更出願提出(逕信省)

七月三十一日 第九回定時株主總會開催、監査役改選

八月十九日 一部運轉開始願提出(愛媛縣) 道後札之辻間本

四十五年

町任吉間

八月二十一日 電燈營業許可(逕信省)

九月十九日 運輸營業一部開始願提出(愛媛縣) 本町札之辻間

九月二十二日 電氣工作物使用認可(逕信省)

十二月二十五日 臨時株主總會開催、資本金三十一萬圓ヲ十二萬圓ニ減少

同 四十五年

一月十日 三津濱堀川運輸開始申請住吉江ノ口間

一月三十一日 第十回定時株主總會開催

二月一日 電氣供給工事施行願提出(逕信省)

四月十三日 車輛増設願提出

四月二十九日 臨時株主總會開催、舊債償還事業資金借入ノ件

六月八日 海水浴場設置願提出

七月二十八日 第十一回定時株主總會開催、定款改正取締役監査役改選

七月一日 知新園ニ動物園開園

七月十三日 三津濱海水浴場開場納涼設備

大正二年

一月三十日 第十二回定時株主總會開催

二月一日 電燈營業開始願提出(逕信省)

二月十五日 立花線電氣軌道起業願提出(内務省)

三月二十五日 私設電話竣工願提出(逕信省)

四月一日 道後公園監視設備願提出(愛媛縣)

六月七日 電力營業開始願提出(逕信省)

同 三年

七月二十九日 第十三回定時株主總會開催、監査役改選

八月八日 扇風機供給規則制定願提出(逕信省)

同 三年

一月二十九日 湯ノ町電線延長願提出(逕信省)

一月三十日 第十四回定時株主總會開催

七月三十一日 第十五回定時株主總會開催

七月九日 停車場新設願提出(愛媛縣)

九月十五日 臨時株主總會開催、取締役監査役改選

同 四年

一月三十日 第十六回定時株主總會開催

七月三十一日 第十七回定時株主總會開催、監査役改選

九月二十三日 電氣供給現程改正願提出(逕信省)

同 五年

一月三十日 第十八回定時株主總會開催

一月九日 臨時株主總會開催、取締役補缺選舉

四月三十日 臨時株主總會開催、伊豫鐵道株式會社ト合併ノ件原案撤去

六月十一日 臨時株主總會開催

六月十二日 臨時株主總會開催、伊豫鐵道株式會社ト合併定款變更資本金增加

六月三十日 委員會開催、伊豫鐵道株式會社ト合併ノ件海水浴場設置願提出(三津)

七月十四日 第十九回定時株主總會開催、定款變更新株募集監査役改選

七月三十一日 臨時株主總會開催、資本金增加取締役監査役改選

十二月二十六日 臨時株主總會開催、資本金增加取締役監査役改選

同 六年

一月二十八日 第二十回定時株主總會開催

七月三十一日 第二十一回定時株主總會開催

十月十八日 臨時株主總會開催、舊債償還事業資金借入ノタメノ抵當權變更

同 七年

一月三十一日 第二十二回定時株主總會開催監査役改選

四月十三日 乘客資金並ニ貨物資金變更認可申請(愛媛縣)

四月一日 電燈料伊豫鐵道電氣株式會社ト協定シテ同一ト

六月六日 乘客貨物ノ資金伊豫鐵道電氣株式會社ト協定シテ同一ト

七月二十日 第二十三回定時株主總會開催

十月九日 發電水力使用認可(愛媛縣)

同 八年

一月二十九日 第二十四回定時株主總會開催、取締役監査役改選

一月三十日 乘客資金並ニ貨物運賃變更認可申請(愛媛縣)

二月二十日 第二十五回定時株主總會開催

七月二十五日 第二發電所工事施行認可申請(逕信省)

同 九年

一月二十四日 第二十六回定時株主總會開催、監査役改選

七月二十四日 第二十七回定時株主總會、監査役補缺選舉

十二月十三日 臨時株主總會開催、伊豫鐵道電氣株式會社松山

電氣興業株式會社トノ合併契約承認

愛媛水力電氣株式會社

- 明治四十四年
  - 九月三十日 今治電氣株式會社電氣事業譲受ノ件通告(認可申請、十月十八日認可)
  - 九月三十日 今治電氣株式會社河水引用事業譲受ノ件愛媛縣(認可申請、十月廿四日認可)
  - 十月十八日 今治町今治俱樂部ニテ創立總會開催
  - 十月二十六日 會社設立登記
  - 十月二十八日 西條支店設立登記
  - 十月三十日 會社成立(簿信者)
  - 十月三十一日 事業開始(簿信者)
- 同 四十五年
  - 六月五日 電氣供給規程一部變更
  - 六月十五日 電氣供給規程制定
- 大正元年
  - 十二月十一日 電氣供給規程變更
  - 十二月十六日 第二回株式拂込登記
- 大正二年
  - 一月二十五日 今治俱樂部ニ於テ臨時株主總會ヲ開キ伊豫水電氣株式會社ノ供給區域タル菊間町内菊間川以東渡止預町ニ至ル電氣供給權並ニ既設工事全部譲受ニ關スル假契約承認

- 六月二日 第三回株式拂込登記
- 七月十日 第四回株式拂込登記
- 十一月四日 資本金參拾萬圓増加決議、十二月十日限ニ第一回株式拂込十五圓宛
- 十二月三日 今治町大字米屋町十二番地ヨリ今治町大字今治村甲五九六番地ノ五事務所移轉
- 十二月九日 加茂發電所水路通水
- 同 三年
  - 一月二十九日 電力供給規程改正
  - 五月二十日 電氣供給規程一部變更
  - 十二月五日 電氣供給規程追加
- 同 四年
  - 一月十五日 米屋町發電所廢止
  - 八月二十三日 電氣供給規程變更
  - 十一月十五日 乙號株式第二回拂込
- 同 六年
  - 九月二十六日 電氣供給規程一部變更
- 同 七年
  - 九月二十一日 純川新發電所建設土木工事ヲ大阪川北電氣企業社ニヨリ着手、變壓器ハ京都松風工業株式會社水車、發電機、勵磁機、配電盤ハ京都奥村電機商會(註文)
- 同 八年
  - 七月三十一日 電氣供給規程一部改正
  - 十二月二十四日 乙號株式第三回拂込

宇和水電株式會社

- 明治四十三年
  - 七月一日 重役會ヲ開キ互選ノ結果社長ニ渡邊修、事務取締役ニ土居輝次郎就任
  - 七月五日 定款認可申請七月二十八日認可
  - 七月七日 本社事務所ヲ九ノ内一番地ノ内八十七番地第一ヨリ本町八十五番地ニ移轉
  - 十一月八日 大倉土木組店主大倉榮馬ト七萬三千五百圓ヲ以テ水路土木工事一切ノ請負契約締結
  - 十一月八日 合名會社大倉組代表社員大倉發身ト二十二萬圓
- 同 十一年
  - 二月十四日 伊豫鐵道電氣株式會社ト合併決議
  - 四月十五日 新株式募集、三十一萬圓増資
  - 五月三十一日 愛媛水力電氣株式會社解散登記
- 同 十二年
  - 三月十五日 丙號株式第二回拂込
  - 六月二十六日 午報用モーターサイレン設置
- 同 十三年
  - 一月二十日 第三回株式拂込
  - 十一月二十九日 西條支店移轉

- 十二月二十一日 宇和島公會堂ニ於テ第一回定時株主總會開催
- 十二月二十七日 逓信大臣ヨリ電氣工事施行認可
- 十二月二十八日 愛媛縣知事ヨリ宇和川河水引用工事施行認可
- 同 四十四年
  - 六月二十一日 株金四萬圓拂込登記
  - 十月十日 監燈規程、動力使用規程届出
  - 十一月四日 水路工事ノ官廳検査ヲ了ヘ大倉土木組ヨリ引渡ヲ受ク
- 同 四十五年
  - 一月八日 株金四萬圓拂込登記
  - 一月三十日 廣島逓信管理局ヘ發電機試運轉届出
  - 三月十一日 廣島逓信管理局長ヘ發電所各發電所間試送電認可申請、三月十八日認可
  - 四月十四日 逓信大臣ヘ電氣工事完成届出、四月二十三日假使用認可
  - 十月十九日 臨時株主總會開催、水力補助及供給擴張ノタメ火力機關設置決議
  - 十一月五日 原動力補充並ニ擴張認可
- 大正二年
  - 八月十六日 第二期擴張工事中喜須來、川ノ石、宮内三ヶ村ノ電燈内外線工事略竣
  - 九月二十五日 第二期擴張供給區域中喜須來、宮内、川ノ石、三ヶ村ニ對スル營業開始
  - 九月二十五日 來村ニ對スル營業開始

表

十月十八日 宇和島電所ヲ宇和島電所内ニ移轉  
 十月二十五日 卯ノ町電所増設變壓器使用認可  
 十一月五日 第四回株金拂込済登記  
 第二期擴設供給區域ニ於ケル電氣工事ハ矢野崎村ヲ豫メスノミトナル  
 十二月二十九日 宇和島電所汽機汽機置置圖提出、昭和三年二月七日縣知事ヨリ許可  
 十二月三十日 矢野崎村ニ對スル營業開始

同 三 年  
 五月十八日 宇和島電所汽機汽機置置成檢査終了使用認可  
 上 期 神山村、宮内村ニ對スル營業開始  
 六月二日 宇和島電所電氣工作物ノ假使用認可、七月二十八日日本使用認可  
 六月二十九日 三瓶村ニ木生村へ供給區域擴張  
 十月二十三日 第五回株金拂込済登記  
 十一月三日 高光村、日土村、依津村、特江村、高山村へ供給區域擴張

同 四 年  
 三月九日 擴設供給區域三瓶配電線路區内事業開始  
 三月十五日 八幡濱電所増設變壓器使用認可  
 六月十四日 高光村ニ對スル供給開始  
 七月十二日 双岩村ニ對スル供給開始  
 八月四日 宇和島電所修繕及宇和島電線路延長使用認可  
 八月三十一日 電氣供給規程改正願

五〇

九月一日 日土村ニ對スル供給開始  
 九月一日 第六回株金拂込済登記

同 五 年  
 六月七日 徳川村船戸川水利使用認可申請  
 八月一日 第七回株金拂込済登記  
 九月一日 南豫水電力電氣株式會社事業繼承認可申請

同 六 年  
 二月二十六日 船戸川水利使用工家用電氣工作物施設認可  
 三月三日 南豫水電力電氣株式會社事業繼承認可、四月二十二日附屬承完了願  
 三月六日 清瀨電所、横林電所ノ新設、既設各變電所供給力増加及供給區域擴張各申請  
 三月十九日 船戸川發電用水力使用及水路並ニ附屬工作物築設ヲ南豫水電力電氣株式會社ヨリ繼承認可  
 七月六日 資本金四十萬圓ヲ百萬圓ニ増加登記  
 九月五日 船戸川ノ河水引用工事着手願  
 九月十七日 清瀨電所新設工事、岩松、高近、各村擴張工事、卯ノ町八幡濱兩電所増設工事施行認可  
 十一月一日 船戸川河水引用工事着手願

同 七 年  
 五月十六日 船戸川發電用水路工事竣成  
 六月二十五日 新株式第二回拂込金一株ニ付金十二圓五十錢ヲ、總額金十五萬圓拂込完了  
 七月十三日 既設各變電所供給力擴張認可

同 八 年

八月十二日 監燈供給規程一部改正願  
 九月二十三日 船戸川發電所及豫備船戸外三ヶ村電氣工事使用認可  
 十月二十日 清瀨村外二ヶ村ニ對スル營業開始  
 十月二十二日 宇和島電所百八十キロニ變更假使用認可  
 十一月一日 電動力供給規程改正願(約三割値上)  
 十一月二日 一本松村及宿毛町ヲ供給區域ヨリ削除申請  
 十二月十一日 宇和島電所ヲ全部豫備トシ野村及清瀨發電所ノ使用水量増加認可申請

同 八 年  
 三月十二日 八幡濱電所擴張工事竣成願(二四〇キロ)  
 五月十日 新株式第三回拂込金一株ニ付金十二圓五十錢ヲ、總額金十五萬圓ノ拂込完了  
 五月十五日 卯ノ町電所擴張工事竣成願(九〇キロ)  
 五月二十八日 船戸川水力發電工事着手願  
 八月十八日 宇和島火力發電所出力ヲ全部豫備ニ編入シ清瀨發電所ノ出力ヲ百七十五キロニ變更認可  
 八月三十一日 宇和製氷會社合併ニ因リ起業目録變更認可  
 九月十九日 宇和製氷株式會社合併ニ關スル變更登記  
 十二月二十五日 本社所在地ヲ宇和島町ヨリ北宇和郡八幡村大字藤江ニ變更登記

同 九 年  
 第十九回臨時株主總會(大正八年十二月二十一日)決議ノ增加資本金二百四十萬圓此株數四萬八千株ノ内二萬二千株ハ舊株一株ニツキ一株ツ

五一

二月七日 新株式最終拂込一株ニ付金十二圓五十錢ヲ、總額十七萬五千圓拂込終了  
 料金値上  
 二月下旬 御旗村へ御内水力發電所設置願  
 三月三十日 宇和島發電所汽機増設願  
 四月二十一日 御内發電所設置及工事施行認可  
 六月二十三日 增加資本金ノ第一回拂込株金拂込済  
 九月二十八日 船戸發電所出力四〇キロヲ五〇キロニ變更認可  
 七月二十九日 横林發電所設置及之ニ關スル電氣工事設計變更並ニ供給區域擴張認可  
 十一月五日 横山(五四〇キロ)假發電所(徳川(六八〇キロ)大浦(一〇〇〇キロ)三發電所設置、各變電所容量増加並ニ供給區域擴張認可申請  
 十二月二十一日 定時株主總會ニ於テ船多水力電氣合併ヲ決議  
 六月二十四日 船多水力電氣株式會社經營ニ係ル電氣事業繼承認可  
 九月十三日 船多水力電氣株式會社合併ニヨル資本金十二萬圓増加ヲ登記  
 十月十四日

同 十一年

十一月十五日 横山假發電所及横林送電線路工事落成  
 一月七日 新株第二回拂込七圓五十錢宛拂込済登記  
 五月二十五日 八幡濱變電所工事落成  
 九月二十一日 新株第三回拂込十二圓五十錢宛拂込済登記  
 九月二十六日 中村瓦斯力發電所電氣工事施行認可  
 十月九日 三間變電所設計變更工事施行認可  
 十月九日 卯之町變電所設計變更工事施行認可

同 十二年

四月十三日 新株第四回拂込十圓宛拂込済登記  
 四月十七日 中村發電所及具同八東廠岡工事落成  
 四月二十日 大浦發電所工事落成假使用認可  
 五月二日 三間變電所工事落成  
 五月二十五日 卯ノ町變電所工事落成  
 七月七日 大浦發電所工事落成  
 六月二十三日 目黒川水利使用認可申請  
 十月九日 新株第五回拂込了シ全額拂込トナル  
 十月十一日 鮎島電氣會社合併資本金五萬六千圓増加登記  
 十二月二十六日 第二十七回定期株主總會ニ於テ津大水電製材株式會社合併ヲ決議

同 十三年

一月二十一日 宇和島變電所及宇和島送電線路一部廢止認可  
 四月十日 横林發電所落成假使用認可  
 四月十四日 宇和島送電線路落成假使用認可

同 十四年

七月二十一日 横山假發電所撤去  
 八月二日 横林送電線路落成  
 十月二十四日 津大水電製材株式會社合併ニヨル資本金六萬二千五百圓増加ノ登記完了  
 十月二十四日 資本金一百八十六萬一千五百圓増加ノ登記完了  
 十一月一日 電燈電力供給規程一部變更(値下)  
 十一月二十六日 黒川發電所並ニ津大、大川筋、江川崎村配電工事落成  
 十二月二十四日 特高送電電壓一萬二千ヴォルトヲ三萬三千ヴォルトニ變更  
 一月十七日 豫土連絡線落成(出目、江川崎間)  
 期首 發電所竣工記念電燈電力需用勸誘  
 七月七日 鴨川發電所試運轉  
 八月二十五日 和靈神社參籠堂ニ於テ臨時株主總會ヲ開催、伊豫鐵道電氣株式會社ト合併假契約書承認  
 八月二十六日 新株第二回株金四十六萬五千三百七十五圓拂込登記完了  
 十一月一日 鮎川水系給渡川發電所工事着手  
 下 期 高知縣下ト愛媛縣下トノ供給周波數統一ノタメ鴨川及中村發電所ノ周波數五〇サイクルニ變更  
 十二月一日 伊豫鐵道電氣株式會社ト合併、新シク伊豫鐵道電氣株式會社設立

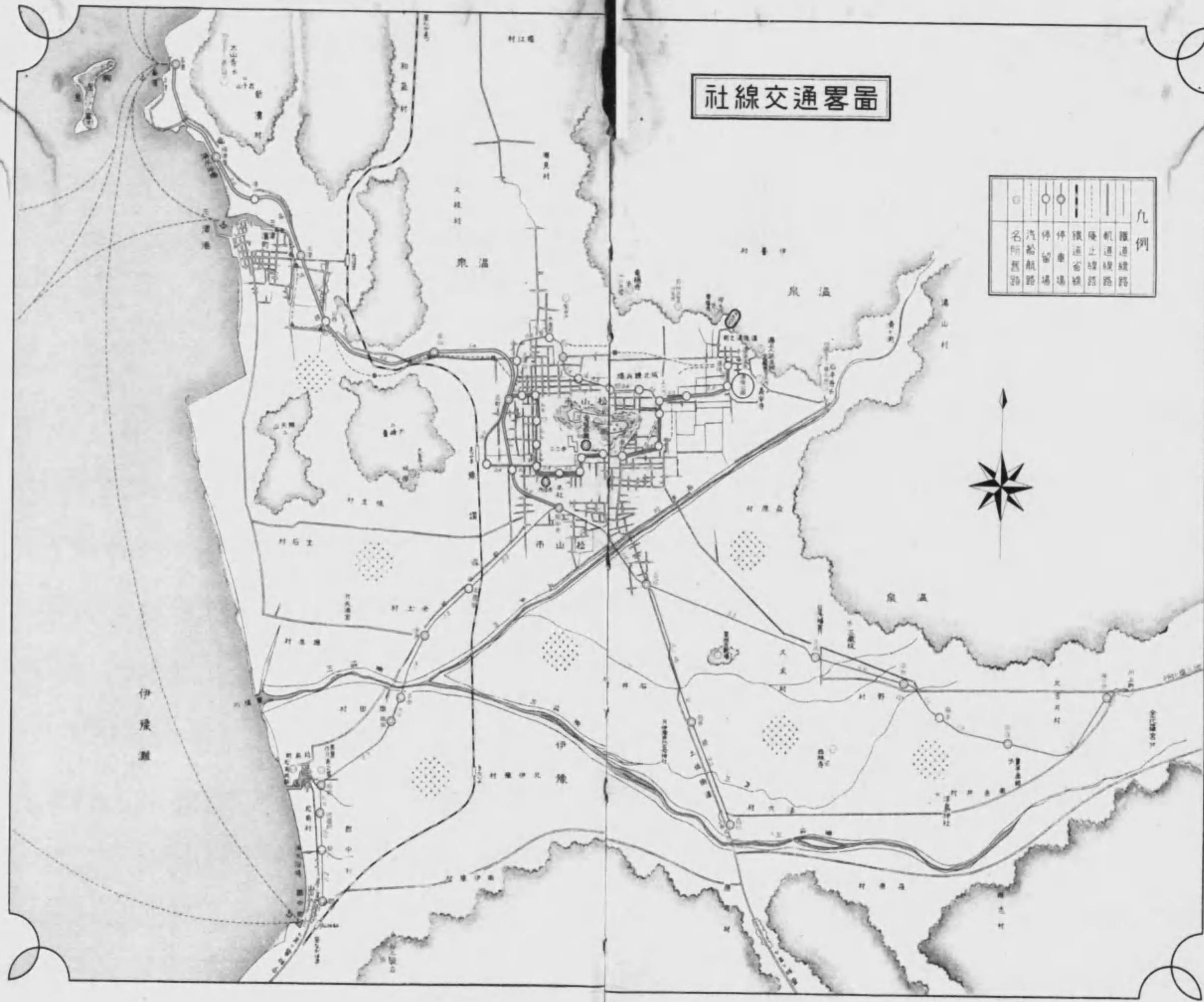
圖表



# 社線交通畧圖

凡例

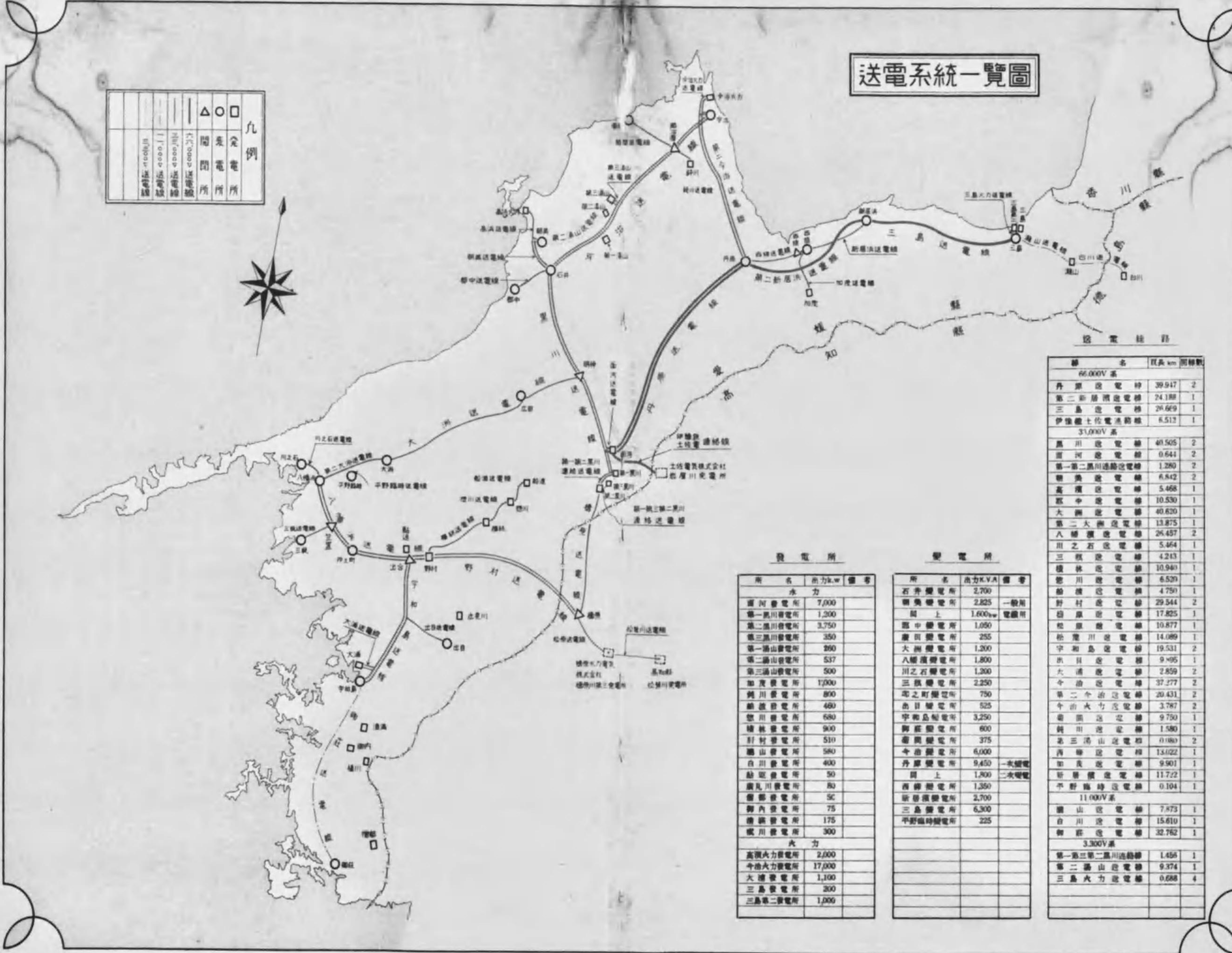
○	○	○	—	—	—
名所舊跡	汽船航路	停留場	鐵道省線	軌道線路	鐵道線路



# 送電系統一覽圖

九例

△	送電所
○	変電所
□	開閉所
—	送電線
—	開閉線
—	変電線



### 発電所

所名	出力kW	備考
水力		
河川発電所	7,000	
第一黒川発電所	1,200	
第二黒川発電所	3,750	
第三黒川発電所	350	
第一山田発電所	300	
第二山田発電所	537	
第三山田発電所	500	
加茂発電所	1,000	
阿用発電所	800	
藤原発電所	400	
徳川発電所	680	
榑林発電所	900	
針形発電所	510	
黒山発電所	580	
白川発電所	400	
船坂発電所	50	
廣見川発電所	80	
豊野発電所	50	
御内発電所	75	
藤原発電所	175	
坂川発電所	300	
火力		
高瀬火力発電所	2,000	
今治火力発電所	17,000	
大瀬発電所	1,100	
三島発電所	300	
三島第二発電所	1,000	

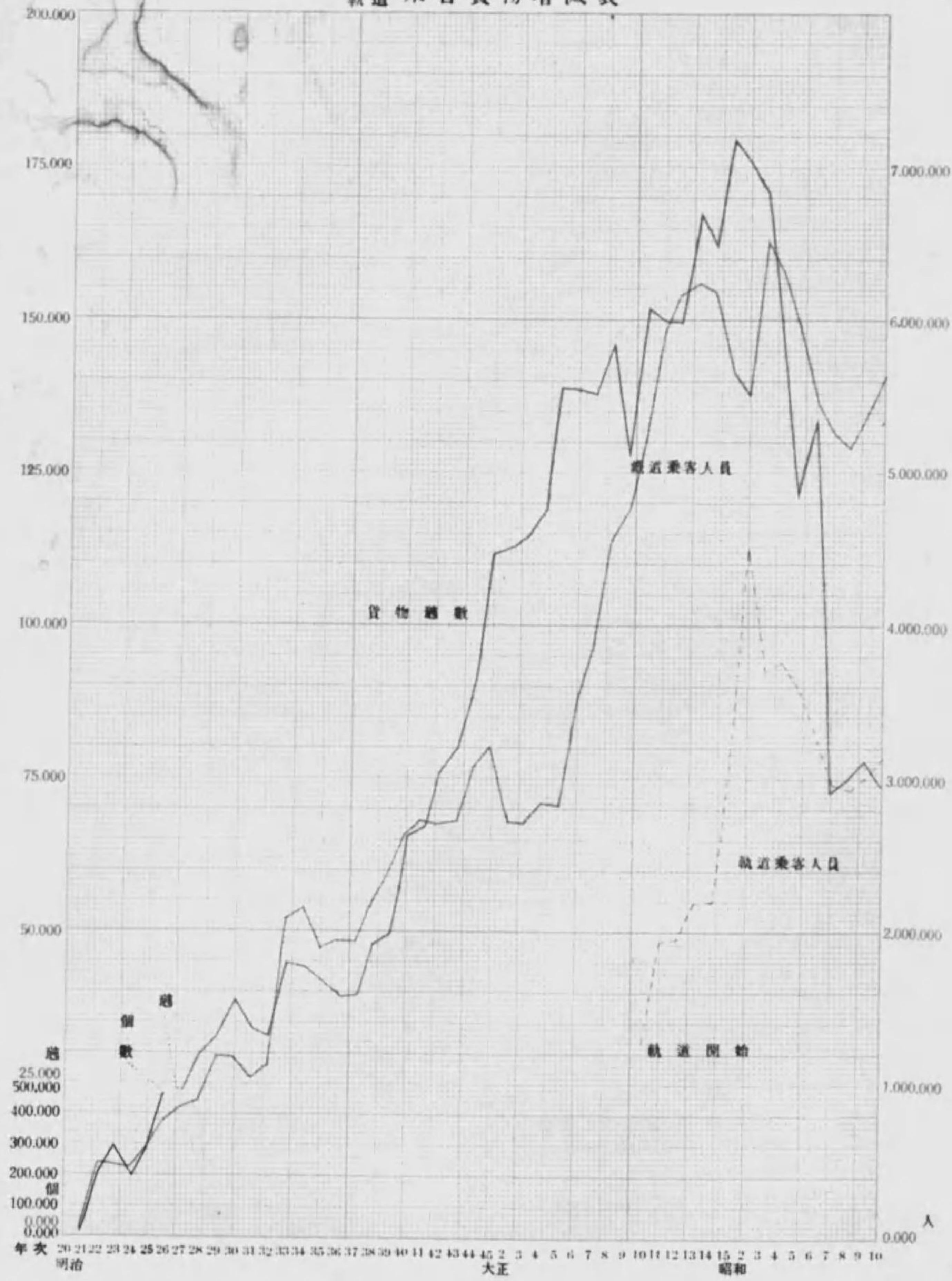
### 変電所

所名	出力kVA	備考
石井変電所	2,700	
榑林変電所	2,825	一般用
同上	1,600kw	電線用
野中変電所	1,050	
廣田変電所	255	
大瀬変電所	1,200	
八幡原変電所	1,800	
川之石変電所	1,200	
三島変電所	2,250	
坂之町変電所	750	
赤日変電所	525	
宇和島変電所	3,250	
榑林変電所	600	
榑林変電所	375	
今治変電所	6,000	
丹原変電所	9,450	一次變電
同上	1,800	二次變電
西條変電所	1,350	
榑林変電所	2,700	
三島変電所	6,300	
平野臨時變電所	225	

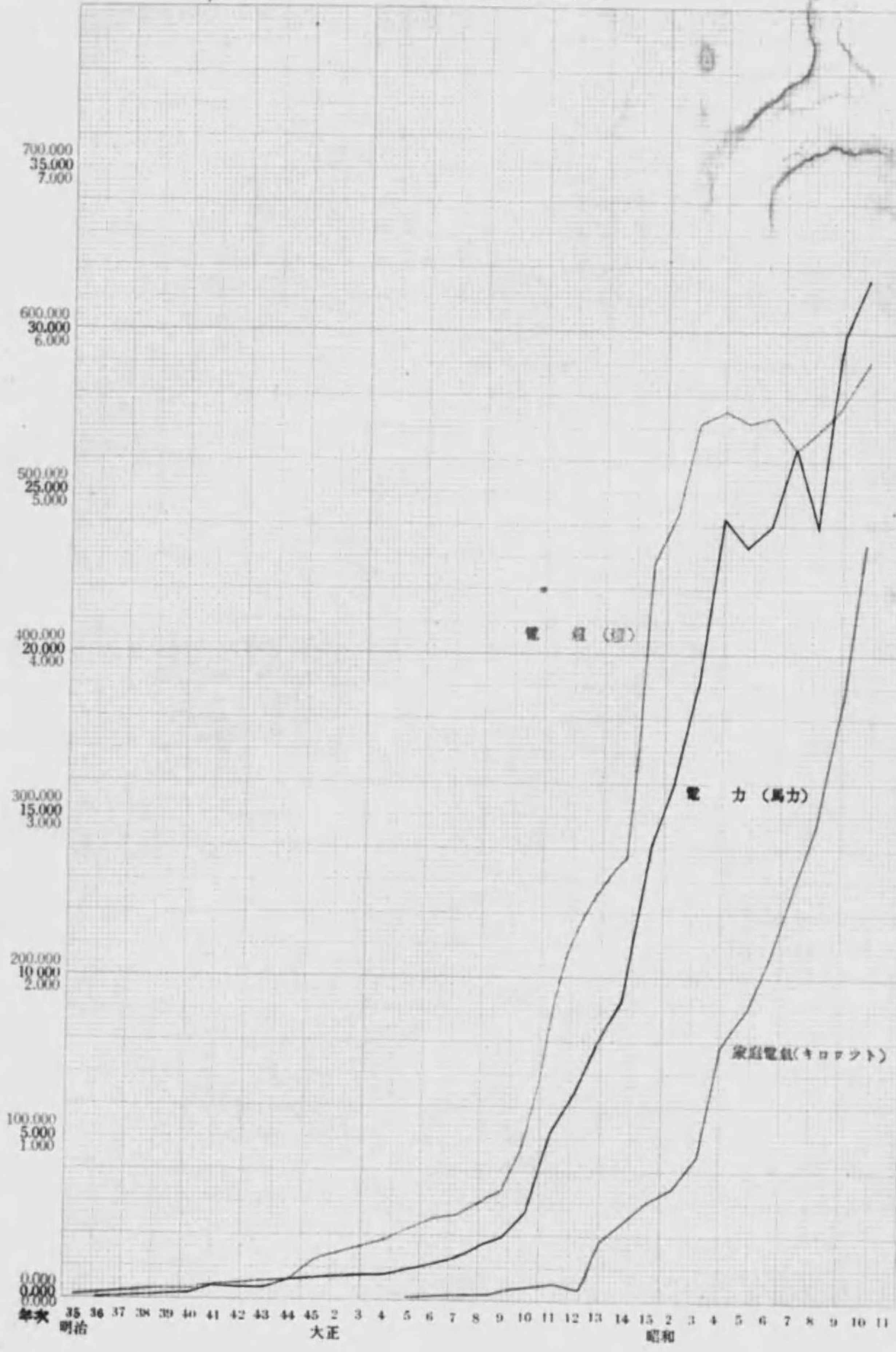
### 送電系統

線名	電圧	長さkm	回線數
66,000V系			
丹原送電線	39,947	2	
第二黒川送電線	24,188	1	
三島送電線	29,669	1	
伊豫土佐送電線	6,512	1	
33,000V系			
黒川送電線	40,505	2	
河川送電線	0,644	2	
第一第二黒川送電線	1,280	2	
榑林送電線	6,842	2	
高瀬送電線	5,468	1	
野中送電線	10,530	1	
大瀬送電線	40,620	1	
第二大瀬送電線	13,875	1	
八幡原送電線	26,487	2	
川之石送電線	5,464	1	
三島送電線	4,213	1	
榑林送電線	10,940	1	
徳川送電線	6,520	1	
榑林送電線	4,750	1	
針形送電線	29,544	2	
榑林送電線	17,825	1	
榑林送電線	10,877	1	
松尾川送電線	14,089	1	
宇和島送電線	19,531	2	
赤日送電線	9,495	1	
大瀬送電線	2,859	2	
今治送電線	37,277	2	
第二今治送電線	20,431	2	
今治火力送電線	3,787	2	
榑林送電線	9,750	1	
榑林送電線	1,580	1	
第三山田送電線	0,180	2	
西條送電線	13,022	1	
加茂送電線	9,901	1	
榑林送電線	11,722	1	
平野臨時送電線	0,104	1	
11,000V系			
榑林送電線	7,873	1	
白川送電線	15,610	1	
榑林送電線	32,762	1	
3,300V系			
第一第二黒川送電線	1,466	1	
第二山田送電線	9,374	1	
三島火力送電線	0,688	4	

鐵道 乘客貨物增減表

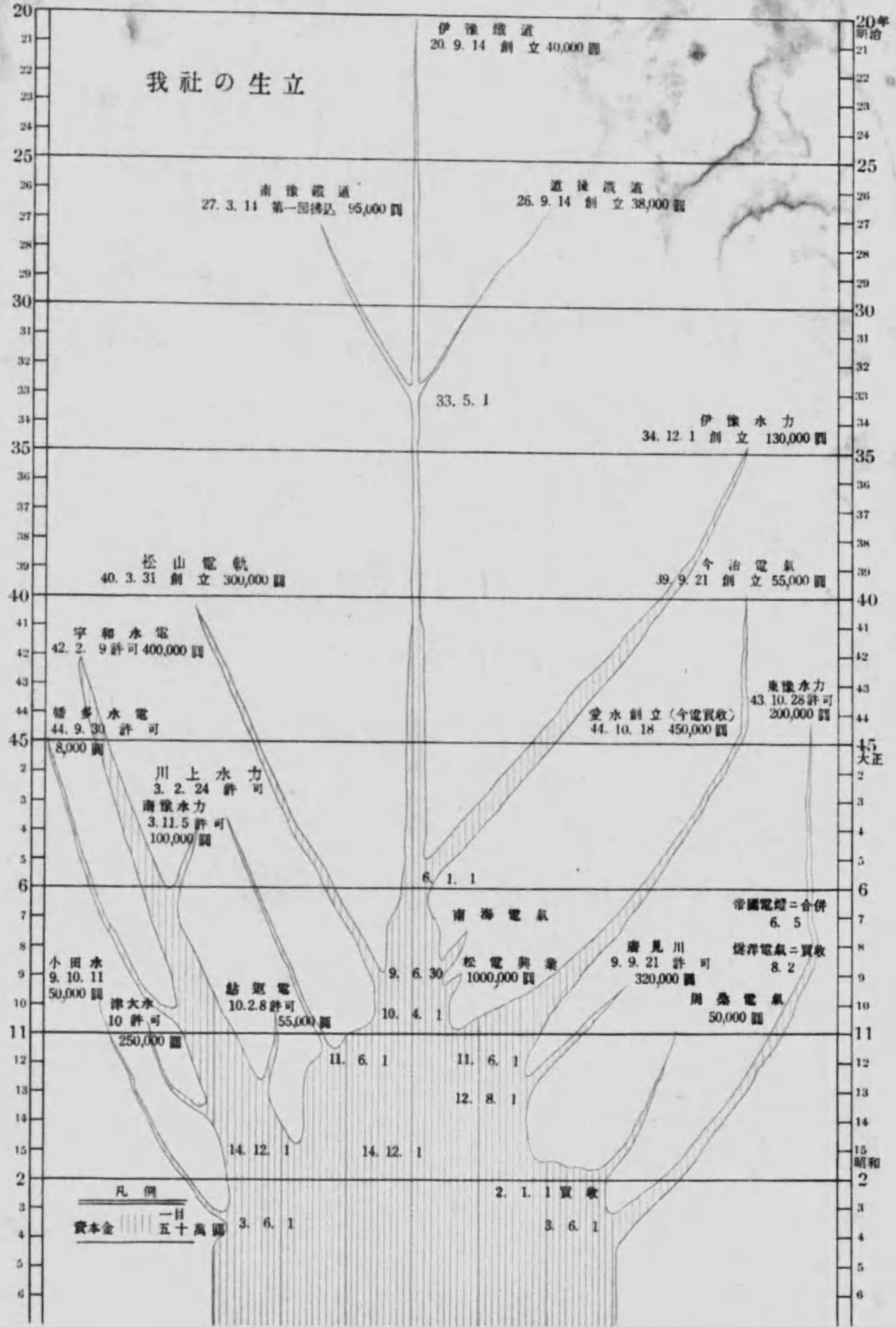


電氣需用增減表





# 我社の生立



20年  
 21  
 22  
 23  
 24  
 25  
 26  
 27  
 28  
 29  
 30  
 31  
 32  
 33  
 34  
 35  
 36  
 37  
 38  
 39  
 40  
 41  
 42  
 43  
 44  
 45  
 大正  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6  
 7  
 8  
 9  
 10  
 11  
 12  
 13  
 14  
 15  
 昭和  
 2  
 3  
 4  
 5  
 6

昭和十一年九月十八日印刷  
昭和十一年十月一日發行

(非賣品)

松山市湊町五丁目十三番地  
伊豫鐵道電氣株式會社

編輯者 高岡 慎吉

印刷者 大阪市東區內久寶寺町三丁目十六番地  
花正太郎

印刷所 大阪市東區內久寶寺町三丁目十六番地  
株式會社 工文社

松山市湊町五丁目十三番地

發行所 伊豫鐵道電氣株式會社

370
232

終

